Canon

BCTV Zoom Lens

UHD-DIGISUPER

UJ122x8.2B AF

UJ122x8.2B

UJ111x8.3B

UJ90x9B

UJ86x9.3B

UJ66x9B

UJ27x6.5B

DIGISUPER

XJ95x12.4B

XJ95x8.6B

XJ80x8.8B

取扱説明書「レンズ」

で使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

はじめに

このたびは、キヤノンBCTVズームレンズをお買い上げいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書には、キヤノンBCTVズームレンズの機能と操作方法および使用上の注意事項について記載してあります。

本製品の取扱説明書は以下の内容で構成され、下記の製品モデルに適用されます。

- ・取扱説明書「はじめにお読みください」(製品同梱)
- 取扱説明書「規制」(製品同梱)
- ・取扱説明書「レンズ」(Web)
- ・取扱説明書「情報ディスプレイ」(Web)

UHD-DIGISUPER

機種名	操作方式				インターフェイス
/ 放性石	IESD	IESDA	IDSD	IDSDA	1/9-/11/
UJ122x8.2B AF	•				
UJ122x8.2B	•		•		BB SB SH
UJ111x8.3B	•		•		5П
UJ90x9B	•	•			BB*
UJ86x9.3B	•				HH IH
UJ66x9B	•	•			PH SB*
UJ27x6.5B	•	•	•	•	SH*

*IESDA,IDSDA対応

DIGISUPER

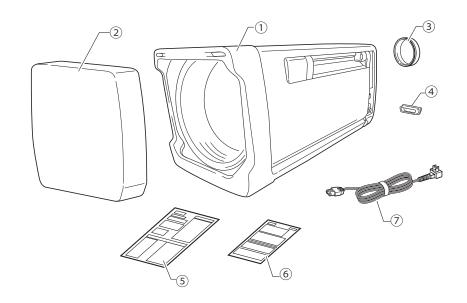
DIGISOFER				
機種名	操作方式			インターフェイス
	IESD	IESDA	IDSD	1774-717
XJ95x12.4B	•	•	•	BB* HH
XJ95x8.6B	•	•	•	IH PH
XJ80x8.8B	•	•	•	SB* SH*

*IESDA対応

商品構成

ご使用を始める前に以下のものが全て梱包されていることをご確認ください。 (万一、不足品がある場合は、お手数でもお買い上げの販売店にご連絡をお願いいたします。)

- ①レンズ本体
- ②フードキャップ (本体取付け)
- ③ダストキャップ (本体取付け)
- ④コネクターキャップ (本体取付け)⑤取扱説明書「はじめにお読みください」
- ⑥取扱説明書「規制」
- ⑦ AC ケーブル*



- *ACケーブルはズーム高速仕様レンズに構成されるオプションとなります。ただし、XLRコネクター付きのレンズには同梱 されません。
- ・付属品以外のアクセサリーをお求めになる場合は、お買い上げの販売店またはキヤノンマーケティングジャパン(株) までお問い合わせください。
- ・本取説レンズのイラストはUJ90x9B標準仕様品です。機種、仕様により形状は若干異なる場合があります。 ・本取説アクセサリーのイラストは標準仕様品です。仕様により形状は若干異なる場合があります。 ・オプション品は対応できない場合があります。

安全にお使いいただく ために

製品および取扱説明書に記載されている安全に関する警告 や注意事項は、必ず守ってください。

これら危険防止の警告や注意事項にそった取扱いをしない 場合、けがや事故に至る可能性があります。

この取扱説明書をよく読んで、十分に理解した上で本製品を 正しくご使用ください。

また、この取扱説明書は必要に応じてご覧になれるよう大切 に保管してください。

この取扱説明書の中では、お客様および他の人々の安全をお 守りし、事故を未然に防止するための警告文や注意文に以下 のシンボルマークと言葉を使用しています。

警告	取扱いを誤った場合に、死亡または重傷 を負う恐れがある警告事項が書かれてい ます。安全に使用していただくために、 必ずこの警告事項をお守りください。
注意	取扱いを誤った場合に、負傷または物的 損害を負う恐れがある注意事項が書かれ ています。安全に使用していただくため に、必ずこの注意事項をお守りください。
『ご注意ください』	操作する上での注意事項または推奨事項です。ここに記載されていることを守らないと、製品が正しく機能しない可能性があります。また、操作上における有益な情報が記載されています。

取扱いについて



- 1. 水をかけたり、濡らしたりしないでください。 万一、内部 に水が入った場合は使用を中止してください。そのまま 使用すると、火災や感電の原因となることがあります。
- 2. レンズで太陽や輝度の高い光源をのぞかないでくださ い。目に障害を起こす原因となることがあります。
- 3. ケーブルを抜くときは、必ずコネクター部を持って抜い てください。ケーブル部を引っ張ると、断線などレンズ ケーブルが傷つき、その部分から漏電して火災や感電の 原因となることがあります。

\ 注意

- 1. 本製品を持ち運ぶときは、落下させないようご注意くだ さい。落下させますと、けがの原因となることがありま
- 2. 取付け部は、しっかりと締め付けてください。 取付け部が緩むと、落下してけがの原因となることがあ ります。
- 3. 定期的(目安として6か月~1年ごと)に取付け部に緩み がないか点検してください。取付け部が緩むと、落下し てけがの原因となることがあります。
- 4. 本製品付属の電源コードは本製品専用です。他の機器に 使用することはできません。

5. 製品を炎天下で使用すると、製品の内部が思わぬ高温に なる場合があります。高温になる状況が想定される場合 は、お客様にて適宜温度対策をお願いいたします。

『ご注意ください』

- 1. 本製品に強い衝撃を与えると故障の原因となることが あります。
- 2. 本製品は、防滴構造にはなっておりません。雨・雪など、 水滴に直接さらして使用しないでください。故障の原因 となることがあります。
- 3. 粉塵の多い場所でのご使用、またはレンズの着脱には十 分ご注意ください。製品内に粉塵が入ると、故障の原因 となることがあります。
- 4. 急激な温度変化を与えますと、レンズの内部が曇ってしば らくの間使用できなくなることがあります。曇り対策処 置など十分にご配慮ください。
- 5. 化学薬品を使用するなど特殊な環境のもとでレンズを 使用される場合には、あらかじめご相談ください。
- 6. 本製品内部には、ガラス部品や精密部品が数多く使われ ています。振動や衝撃による故障を防ぐため、下記のこ とにご注意ください。
 - ・本製品を搬送する際は、必ず使用時と同様に水平(横向 き)にしてください。垂直(縦向き)の状態で振動や衝撃 を受けると故障の原因となることがあります。また、精 密機器輸送が可能な運送業者に依頼してください。その 際、事前に精密機器であることを伝えてください。
 - ・別手配のキャリングケースをご使用になる場合は、お求 めになった代理店、または直接キヤノン(株)へ必ずご相 談ください。

異常時の対処方法について



万一下記のような異常が発生した場合には、ただちに レンズをカメラから取り外して、お求めになった代理 店、または販売店までご連絡ください。

- ・発煙、異臭、異常音などが発生した場合
- ・異物 (金属や液体など)が製品内部に入ってしまった 場合

保守・点検について



🊹 警告

本製品の外装を清掃するときは、必ずケーブルを抜き、 レンズやカメラから取り外してから行ってください。 また、ベンジン・シンナーなど引火しやすいものは、使 用しないでください。火災や感電の原因となることが あります。

- 1. レンズの表面についたゴミやほこりは、ブローアーで吹 き飛ばすか、柔らかい刷毛で軽く払ってください。 指紋やシミが付いた場合は、市販のレンズクリーナーを 少量浸した清浄な柔らかい綿布またはレンズクリーニ ングペーパー(シルボン紙など)で軽くふき取ってくだ さい。中心から渦を巻きながら周辺に向かってふき上げ ます。ゴミなどが付着したままで強くこするとレンズ表 面に傷がつくことがありますのでご注意ください。
- 2. 使用条件・頻度・環境などにより異なりますが、毎年一回 程度は保守点検を実施し、必要な場合にはオーバーホー ルなどを行ってください。

保管について



保管するときは、必ずフードキャップ・ダストキャップ を付けてください。キャップなしの状態で保管した場 合、レンズの集光作用により火災の原因となることがあ ります。

『ご注意ください』

霧や小雨などで湿気を含んだ場合には、速やかに乾いた 布で水分をふき取り、乾燥剤(できるだけ新しい乾燥剤 を使用)とともに、ビニール袋に入れて密封し、完全に内 部の湿気を除去してください。

お客様へ

- 1. お客様の誤った操作に起因する障害については、当社 は、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 2. 本製品の品質・機能および取扱説明書に関して、お客様 の使用目的に対する適合性・市場性などについては、一 切の保証をいたしかねます。 また、そこから生じる直接的・間接的損害に対しても責 任を負いかねます。
- 3. 本製品の仕様・商品構成・外観図などは、お断りなく変更 することがあります。
- 4. 修理や保守点検、本取扱説明書に記載されていない諸調 整などにつきましては、お求めになった代理店、または 販売店までお問い合わせください。
- 5. お客様のご都合で、当社に相談なく改造が行われた製品 に対しては、その修理などをお引き受けできない場合が ありますのでご注意ください。

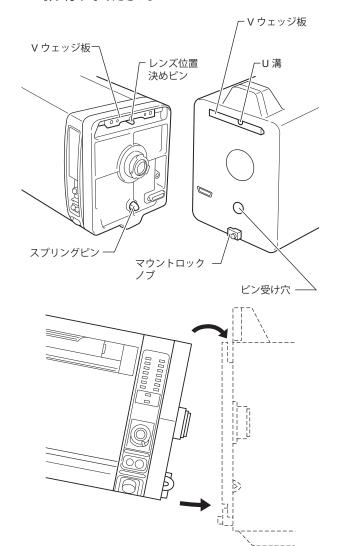
この取扱説明書の著作権はキヤノン株式会社にあります。 この取扱説明書の一部または全部をキヤノン株式会社の 承諾書なしに、複写・複製または転記することは禁止され ています。

1	取付け・接続 1-1 カメラへ取り付ける	2
	1-2 各操作用アクセサリー(フルサーボ用)を取り付ける (サーボデマンドをご使用の場合)	
	1-3 ズーム高速仕様レンズへのアクセサリーの取付け(オプション)	6
	1-4 各操作用アクセサリー(フルサーボ用)を取り付ける (操作棒をご使用の場合)	8
2	 操作前の準備	11
	2-1 初期化動作(一部の機種は不要)	11
	2-2 フランジバック調整	12
	2-3 カバーの取外し/取付け	12
	2-4 アイリスゲイン調整	12
	2-5 アイリスモード設定	14
	2-6 ディスプレイによる各種設定	15
	2-7 カメラ組込型フォーカスデマンド(オプション)	16
	2-8 操作モード(サーボ操作/操作棒)の切替え(IDSD, IDSDAタイプの	レンズのみ)16
3		17
	3-1 ズーム・フォーカスを操作する	17
	3-2 アイリスを操作する	18
	3-3 エクステンダーを操作する	19
	3-4 AF(オートフォーカス)機能を操作する(AF機能搭載機種のみ)	19
	3-5 IS機能を操作する (IS機能搭載機種のみ)	19
4	その他の機能とオプション	22
	4-1 電圧不足を確認する	22
	4-2 外部電源を利用する(IESD/IESDAタイプのレンズのみ、ズーム高速位	士様は除く)22
	4-3 ヒーターシステム (オプション)	22
	4-4 ワイパーシステム(オプション)	23
	4-5 乾燥ガス封入(オプション)	23
5	仕様	24
付録		 巻末

1-1 カメラへ取り付ける

大型カメラへ取り付ける

- 1 三脚または雲台に載せてあるパン・チルトヘッドのパンニング機構、チルティング機構が確実にロックされていることをご確認ください。
- 2 カメラ本体にあるマウントロックノブをレンズ側から見て反時計方向に90°回し、カメラ保護板またはカメラ保護キャップを取り外し、レンズをカメラに取り付けられる状態にしてください。
- 3 レンズ後面(マウント面)のコネクターにかぶせて あるコネクターキャップおよびレンズ保護のダスト キャップを取り外してください。
- 4 レンズを両手にてしっかりと持ち、カメラの V ウェッジ板とレンズの V ウェッジ板、およびレンズ位置決めピンとカメラの V ウェッジ板の U 溝を合わせてから取り付けてください。

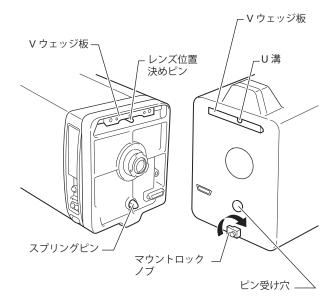


注意 注意

レンズは相当重量がありますので、レンズカバーの両サイドにある 取っ手部分を両手でしっかりと持ち、正しい姿勢でレンズを持ち上 げてください。

正しい姿勢でレンズを持たない場合、レンズを落下させて破損させたり、落下が起因でけがを負う危険がありますのでご注意ください。

5 レンズマウント面の下部にあるスプリングピンがカメラ側の相対するピン受け穴に確実に一致することを確認しながら、レンズをカメラに密着するように押し付けてください。次に、マウントロックノブを矢印の方向(下図参照)に回してレンズを固定してください。



『ご注意ください』

- ・レンズとカメラ間を接続するコネクターは、4,5 の作業により自動的に接続された状態になります。ただし、5 に記載の確認事項をおこたり、強制的に取り付けようとすると、レンズ側コネクターおよびカメラ側コネクターを破損させてしまう恐れがありますのでご注意ください。
- ・ 操作用アクセサリーの取付けを完了したあと、パン・チルトヘッドのバランス調整作業が必要になります。

ハンディカメラへ取り付ける

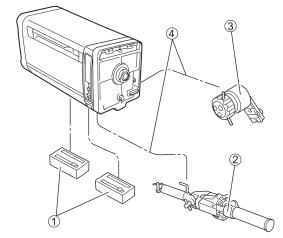
ハンディカメラをご使用の場合、レンズを装着するサポーターが必要になります。

カメラによって対応サポーターが異なりますので、詳しく は販売代理店またはキヤノン (株) までお問い合わせくだ さい。

1-2 各操作用アクセサリー(フ ルサーボ用)を取り付ける

(サーボデマンドをご使用の場合)

サーボデマンド類は下図のように取付け・接続します。各種デマンドを取り付ける際は、デマンドの取扱説明書をご覧ください。



- ① サーボモジュール
- ② ズームデマンド
- ③ フォーカスデマンド
- ④ デマンドケーブル

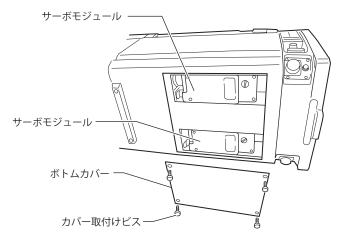
サーボモジュールを取り付ける

サーボモジュールをレンズ底面部にあるズームおよび フォーカスのジョイント部へ取り付けます。

『ご注意ください』

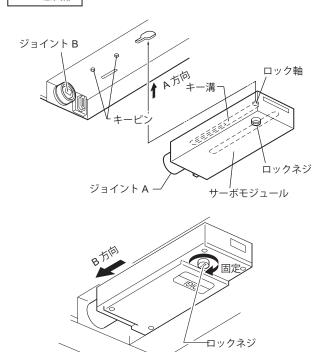
このサーボモジュールは、ズーム側・フォーカス側どちらに用いて も正常に機能を発揮するようになっており、どちら側にも取付け可 能です。

レンズ本体底面部にボトムカバーがある場合は、カバー取付けビスを緩め、ボトムカバーを外してください。



- **2** レンズ本体への装着前に、サーボモジュールのロック ネジを反時計方向に回して緩めてください。
- 3 レンズ本体のキーピンがサーボモジュールのキー溝に 入るよう矢印 A 方向へサーボモジュールを押し付けて ください。

レンズ底面部



- 4 サーボモジュールのジョイント A 部とレンズ本体の ジョイント B 部を合わせてから矢印 B 方向へ奥に突 き当たるまで、十分に押し込んでください。
- 5 この状態で硬貨またはマイナスドライバーなどを使用して、サーボモジュールのロックネジを時計方向に回してサーボモジュールをしっかりと固定して下さい。
- **6** ボトムカバーがある場合は、カバー取付けビスでレン ズ底面部に取り付けます。

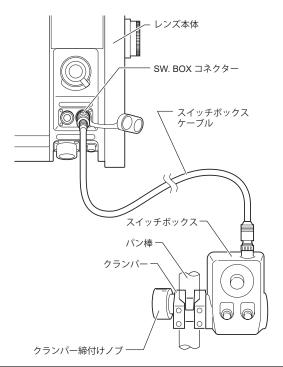
次に、同じ手順でもう一方のジョイント部へもサーボモジュールを取り付けてください。ズーム側、フォーカス側のどちらを先に取り付けても問題ありません。

『ご注意ください』

一部の機種にはジョイントB部の外周に指標ライン(白色)があります。ジョイントA部とジョイントB部の装着は、ジョイントB部の指標ライン(白色)が完全に隠れるまで確実に押し込んでください。不十分な装着状態の場合、サーボモジュールが作動しないことや、作動しても異常音がすることがありますので、確実に結合させてから操作を行ってください。

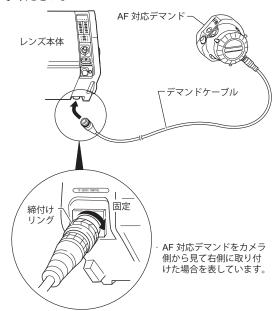
スイッチボックスを取り付ける (オプション)

- 付属のケーブルを使用してレンズとスイッチボックスを接続します。



AF(オートフォーカス)対応デマンド を取り付ける(AF 機能搭載機種のみ)

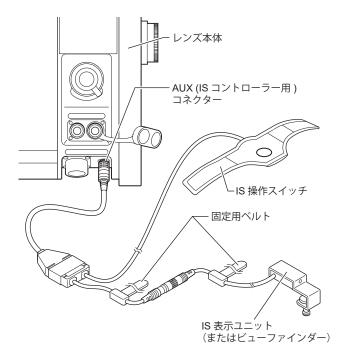
AF 対応デマンドユニットは下図のように取付け・接続します。デマンドの取扱説明書の手順に従って取付け・接続を行ってください。



IS 操作用アクセサリーを取り付ける (IS 機能搭載機種のみ)

■ IS 操作ユニットを取り付ける

- IS 操作ユニットのコネクターをレンズ本体側面部にある AUX と表示されたコネクターへ接続してください。 (コネクターの位置は、機種や仕様により異なります。)
- 2 ケーブルから分岐したもう一方の IS 表示ユニットは 固定用ネジを具備していますので、ビューファイン ダーの縁部など、LED の点灯・消灯が確認しやすいと ころへ取り付けてください。表示機能を持っているカメラをご使用の場合は表示ユニットは不要です。



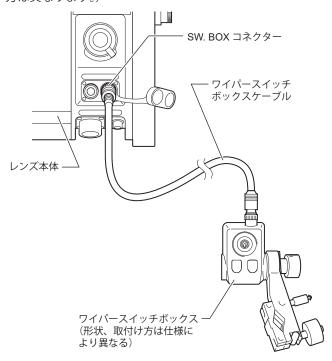
|ビューファインダーで IS 動作状態を確認す ┃る

IS 機能の作動中/停止中の信号をレンズ側から受け取り、ビューファインダー上に動作状態を表示する機能を備えているカメラを使用する場合、IS 操作スイッチのみ接続して操作することが可能です。

IS 操作ユニットからケーブル途中で接続してある IS 表示ユニットを取り外してご使用ください。

ワイパースイッチボックスを接続する (オプション)

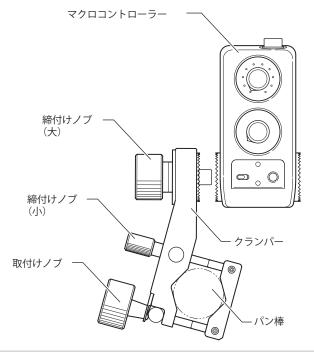
ワイパー付き仕様の製品で別途専用スイッチボックスをお求めの場合、専用ケーブルでレンズとスイッチボックスを接続してください。(スイッチボックスの仕様により取付け方は異なります。)



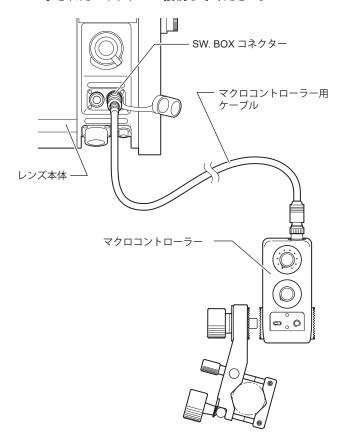
マクロコントローラーを取り付ける (オプション)

マクロ機能搭載レンズをお使いの場合、オプションのマクロコントローラーを使用することでマクロ操作が可能になります。詳細はマクロコントローラーの取扱説明書をご覧ください。

- 2 パン棒にクランパーを取付けたあと、クランパーの大小の締付けノブを締めて、クランパーを固定してください。
- **3** マクロコントローラーとクランパーのそれぞれの菊座 を噛み合わせます。
- **4** クランパーの取付けノブを締めて、しっかりと固定してください。



5 マクロコントローラー用ケーブルのコネクター(メス側)をマクロコントローラーのコネクターへ接続します。次にケーブルのもう一方の端のコネクター(オス側)をレンズ本体の後方側面部にある SW. BOX と表示されたコネクターへ接続してください。

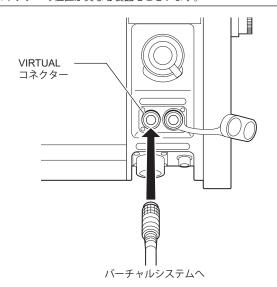


バーチャル用ケーブルを接続する (バーチャルシステム対応機種のみ)

レンズ本体側面部(カメラ側から見て左側)に VIRTUAL と表示されたコネクターがあります。 このコネクターは各種 バーチャルシステムなどとのインターフェイスと接続する際に使用するコネクターです。 ズーム、フォーカス、アイリスの各位置信号をエンコーダーパルス列/ RS-422 による通信データの 2 種類の方式で出力が可能です。

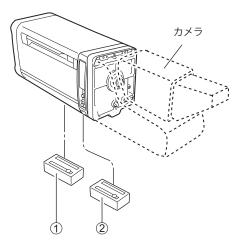
『ご注意ください』

コネクターの位置が異なる製品もございます。



1-3 ズーム高速仕様レンズへの アクセサリーの取付け (オプション)

ズーム高速仕様の場合は以下のような構成によりズームおよびフォーカス操作を行います。



- ① サーボモジュール
- ② ハイスピードサーボモジュール

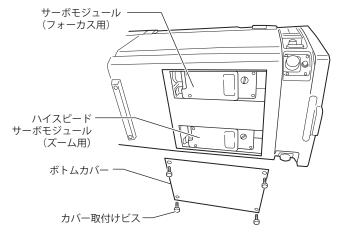
対応可能機種については、キヤノンマーケティングジャパン(株)、お求めになった代理店または直接キヤノン(株)へお問い合せください。

サーボモジュールを取り付ける

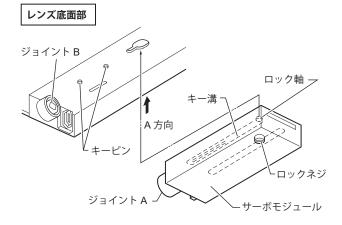
サーボモジュールはズーム用、フォーカス用が決められています。取付けの際は、以下のモジュールを次の場所に取り付けるようご注意ください。

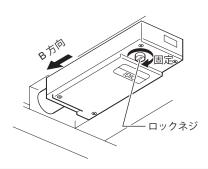
カメラ側からみて右側 (ズーム用)	ハイスピードサーボモジュール
カメラ側からみて左側 (フォーカス用)	サーボモジュール

1 レンズ本体底面部にボトムカバーがある場合は、カバー取付けビスを緩め、ボトムカバーを外してください。



- 2 レンズ本体への装着前に、サーボモジュールのロックネジを反時計方向に回して緩めます。
- 3 レンズ本体のキーピンがサーボモジュールのキー溝に 入るよう矢印 A 方向へサーボモジュールを押し付けて ください。





- 4 サーボモジュールのジョイントA部とレンズ本体の ジョイントB部を合わせてから矢印B方向へ奥に突 き当たるまで、十分に押し込んでください。
- 5 この状態で硬貨またはマイナスドライバーなどを使用して、サーボモジュールのロックネジを時計方向に回してサーボモジュールをしっかりと固定します。
- **6** ボトムカバーがある場合は、カバー取付けビスでレンズ底面部に取り付けます。

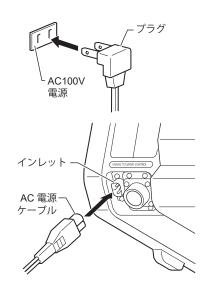
一部の機種にはジョイント B 部の外周に指標ライン(白色)があります。ジョイント A 部とジョイント B 部の装着は、ジョイント B 部の指標ライン(白色)が完全に隠れるまで確実に押し込んでください。不十分な装着状態の場合、サーボモジュールが作動しないことや、作動しても異常音がすることがありますので、確実に結合させてから操作を行ってください。

電源を供給する

ズーム高速仕様を駆動させるには、ハイスピードサーボモジュールとカメラからの電源以外に専用の電源が必要となります。工場出荷時にハイスピードサーボモジュールはすでに搭載済みですが、併せて電源の供給が必要となります。AC100V電源、専用 DC電源(19V)、または DC電源(XLR型4ピン出力、10~17V)のいずれかを使用してください。(コネクターの種類は、機種や仕様により異なります。)

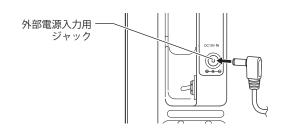
AC100V 電源の場合

- プラグを AC100V 電源に差し込みます。
- **2** AC 電源ケーブルをレンズ本体の後方にあるインレットに差し込みます。(カメラ側から見て右側)



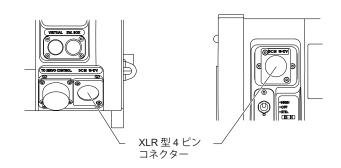
専用 DC 電源の場合

レンズ本体側面部にある外部電源入力用ジャックへ DC 電源(19V) を入力します。 (カメラ側から見て右側)



DC 電源(XLR型4ピン出力)の場合

レンズ本体側面部にある XLR 型 4 ピンコネクターへ DC 電源 (XLR 型 4 ピン出力、10~17V) を入力します。 (コネクターの位置は、機種や仕様により異なります。)



- 専用電源の供給は、インレットには AC 電源を、外部電源入力用 ジャックには DC 電源 (19V)を、XLR型 4 ピンコネクターの場合は DC 電源 (XLR型 4 ピン出力、10~17V)を使用してください。
- AC100V 電源は必ずカメラシステムからお取りください。
- ・ バッテリーやアダプターをご使用の際は、各メーカーにより定格 電圧が高めに出力されている場合がありますので、必ず下記電圧 範囲でご使用ください。正常動作範囲外の電圧で使用された場合、 故障の原因となります。

外部電源入力用ジャック 定格電圧:DC19V

正常動作範囲:DC19V ± 0.95V

XLR 型 4 ピンコネクター 定格電圧:DC12V

正常動作範囲: DC10V~17V

また、レンズ電源入力には極性があります。バッテリーやアダプターをレンズに接続する際は、電源ケーブルの極性を必ずご確認ください。誤った極性で接続すると故障の原因となることがあります。

・ 外部電源入力用ジャックへの電源供給が優先されます。AC100V 電源をインレットに入力していても、外部電源入力用ジャックへ DC12V など DC19V に満たない電圧を入力すると、ズームデマ ンドによるズーム操作性が鈍くなります。

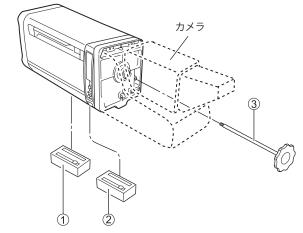
その他の接続につきましては、サーボデマンドをご使用の 場合と共通です。

「スイッチボックスを取り付ける」(p.4) から「バーチャル 用ケーブルを接続する」(p.6) をご覧下さい。

1-4 各操作用アクセサリー(フ ルサーボ用)を取り付ける

(操作棒をご使用の場合)

操作棒で操作する場合は以下のような構成によりズームお よびフォーカス操作を行います。



- ① サーボモジュール
- ② ハイスピードサーボモジュール
- ③ 操作棒

対応可能機種については、キヤノンマーケティングジャパン(株)、お求めになった代理店または直接キヤノン(株)

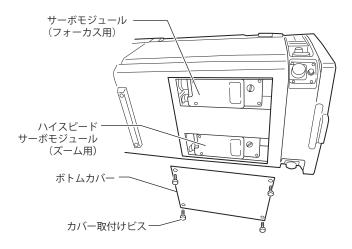
へお問い合せください。

サーボモジュールを取り付ける

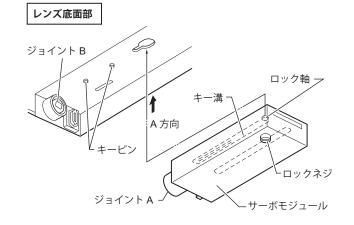
サーボモジュールはズーム用、フォーカス用が決められています。取付けの際は、以下のモジュールを次の場所に取り付けるようご注意ください。

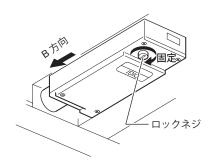
カメラ側からみて右側 (ズーム用)	ハイスピードサーボモジュール
カメラ側からみて左側 (フォーカス用)	サーボモジュール

■ レンズ本体底面部にボトムカバーがある場合は、カバー取付けビスを緩め、ボトムカバーを外してください。



- 2 レンズ本体への装着前に、サーボモジュールのロック ネジを反時計方向に回して緩めます。
- 3 レンズ本体のキーピンがサーボモジュールのキー溝に 入るよう矢印 A 方向へサーボモジュールを押し付けて ください。





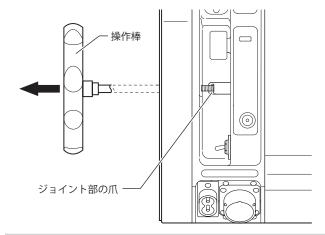
- 4 サーボモジュールのジョイント A 部とレンズ本体の ジョイント B 部を合わせてから矢印 B 方向へ奥に突 き当たるまで、十分に押し込んでください。
- 5 この状態で硬貨またはマイナスドライバーなどを使用して、サーボモジュールのロックネジを時計方向に回してサーボモジュールをしっかりと固定します。
- **6** ボトムカバーがある場合は、カバー取付けビスでレンズ底面部に取り付けます。

一部の機種にはジョイントB部の外周に指標ライン(白色)があります。ジョイントA部とジョイントB部の装着は、ジョイントB部の指標ライン(白色)が完全に隠れるまで確実に押し込んでください。不十分な装着状態の場合、サーボモジュールが作動しないことや、作動しても異常音がすることがありますので、確実に結合させてから操作を行ってください。

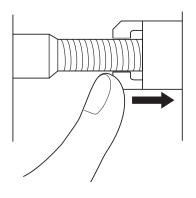
操作棒を取り付ける

操作棒によるズーム・フォーカス操作を行う場合は、まず 操作棒をレンズに取付けてください。

- 操作棒の接続前にレンズをカメラに接続しておきます。
- 2 カメラ操作棒ガイド穴から操作棒を挿入し、最も深く 押し込んだ状態で、カメラ側から見て時計方向に回し てください。ジョイント部の仮連結が行われます。この状態ではまだネジの先端のみでの連結です。
- **3** 操作棒を手前に静かに引き戻し、ジョイント部の爪が 見えるように引き戻してください。



- 4 3. の状態で指で爪を押し込むと、更に操作棒をねじ込むことが出来るようになりますので、十分にねじ込んでください。
- **5** 操作棒を少し回転させ、操作棒の溝にジョイント部の 爪がはまるようにします。これで操作棒の取付けが確 実に行われます。



『ご注意ください』

他社製の操作棒は、ジョイント部のネジピッチが異なる場合がありますのでご使用にならないでください。レンズをカメラから取り外すときは、事前に操作棒を取り外してください。操作棒を取り外さない状態でレンズを取り外すと、内部機構の破損や事故の原因となりますのでご注意ください。

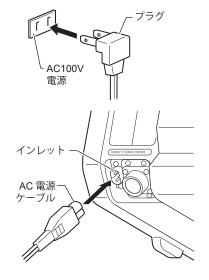
電源を供給する

操作棒によるズーム操作を快適に駆動させるには、ハイスピードサーボモジュールとカメラからの電源以外に専用の電源が必要となります。工場出荷時にハイスピードサーボモジュールはすでに搭載済みですが、併せて電源の供給が必要となります。AC100V電源、専用DC電源(19V)、またはDC電源(XLR型4ピン出力、10~17V)のいずれかを使用してください。(コネクターの種類は、機種や仕様により異なります。)

AC100V 電源の場合

プラグを AC100V 電源に差し込みます。

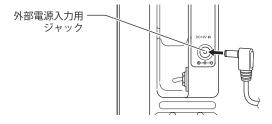
2 AC 電源ケーブルをレンズ本体の後方にあるインレットに差し込みます。(カメラ側から見て右側)



専用 DC 電源の場合

レンズ本体側面部にある外部電源入力用ジャックへ DC 電源(19V) を入力します。

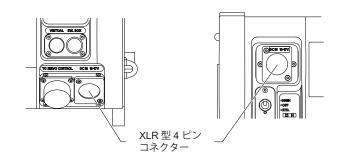
(カメラ側から見て右側)



DC 電源(XLR 型 4 ピン出力)の場合

レンズ本体側面部にある XLR 型 4 ピンコネクターへ DC 電源(XLR 型 4 ピン出力、10~17V)を入力します。

(コネクターの位置は、機種や仕様により異なります。)



『ご注意ください』

- 専用電源の供給は、インレットには AC 電源を、外部電源入力用 ジャックには DC 電源 (19V)を、XLR型 4 ピンコネクターの場 合は DC 電源 (XLR型 4 ピン出力、10~17V)を使用してください。
- AC100V 電源は必ずカメラシステムからお取りください。
- ・ バッテリーやアダプターをご使用の際は、各メーカーにより定格 電圧が高めに出力されている場合がありますので、必ず下記電圧 範囲でご使用ください。正常動作範囲外の電圧で使用された場合、 故障の原因となります。

外部電源入力用ジャック

定格電圧:DC19V

正常動作範囲: DC19V ± 0.95V

XLR 型 4 ピンコネクター 定格電圧: DC12V

正常動作範囲:DC10V~17V

また、レンズ電源入力には極性があります。バッテリーやアダプターをレンズに接続する際は、電源ケーブルの極性を必ずご確認ください。誤った極性で接続すると故障の原因となることがあります。

- ・ 外部電源入力用ジャックへの電源供給が優先されます。AC100V 電源をインレットに入力していても、外部電源入力用ジャックへ DC12V など DC19V に満たない電圧を入力すると、操作棒によ るズーム操作性が鈍くなります。
- 専用の電源を供給しない場合でも操作棒によるズーム操作は可能ですが、ズームの性能を十分に発揮できないことがあります。安定した撮影を行っていただくために専用電源のご使用を推奨します。

その他の接続につきましては、サーボデマンドをご使用の場合と共通です。

「スイッチボックスを取り付ける」(p.4) から「バーチャル 用ケーブルを接続する」(p.6) をご覧下さい。

2 操作前の準備

2-1 初期化動作

以下の機種は初期化動作不要

- UJ122x8.2B AF、UJ122x8.2B、UJ111x8.3B
- ・操作方式が IESDA、IDSDA の機種

本レンズは、ズーム、アイリス、フォーカスの位置センサーとしてエンコーダーを内蔵し、高精度制御の実現とバーチャルインターフェースに対応しています。正しく機能させるためには正確な位置を検出する必要があります。

情報ディスプレイから、初期化動作の ON (自動)・OFF (手動) を選択できます。

_		
	ON(自動)	電源投入後、レンズは自動で初期化動作を実行します。(ただし、サーボモード時)
	OFF(手動)	電源投入後、レンズ操作中にレンズが一定の位置(通常中央付近)を通過したとき位置検出を行います。
		※工場出荷時のデフォルトは OFF です。

設定方法の詳細は「**ディスプレイ操作マニュアル**」をご覧ください。

ZOOM の位置検出方法

初期化動作 設定	位置検出の方法
ON(自動)	電源投入時に自動で位置検出を行い、その後、電源投入時の位置に戻る。
OFF(手動)	電源投入直後は仮位置で動作し、レンズ操作中にレンズが一定の位置を通過したとき位置検出し、正確な位置への補正を行う。

FOCUS の位置検出方法

初期化動作 設定	デマンド の接続	位置検出の方法
	有	電源投入時に自動で位置検出を行ったあと、デマンドの指令信号の位置に移動。
ON(自動)	無	電源投入時に自動で位置検出を行ったあと、電源投入時の位置に戻る。
	有	電源投入時に自動で位置検出を行った あと、デマンドの指令信号の位置に移動。
OFF(手動)	無	位置検出の動作なし。 デマンド接続時に自動で位置検出した あと、デマンドの指令信号の位置に移動。

位置検出が正常に行われなかった場合

• カメラに送り返す位置信号およびディスプレイ上のフォロー表示が正確になされません。

その他の注意

- アイリスはオート、マニュアルモードに関わらず、電源 投入時に必ず初期化動作を自動で行います。
- 初期化動作中はレンズの操作はできません。初期化が完了すれば、レンズは初期化開始前の位置に戻ります。 ただし、レンズがポジションサーボモード(位置制御)の場合は、コントロールの位置に移動します。
- 初期化動作設定の ON / OFF は情報ディスプレイから設定が可能ですが、電源投入時の設定が優先されるため、設定変更した場合は電源の再投入を実行してください。

初期化エラー画面はサーボモジュールが正しく取り付けられていない状態か、もしくはレンズが強制的にロックされた状態などのとき表示されます。

使用状況の再確認、または原因を取り除き電源の再投入を 行ってください。

初期化エラー画面

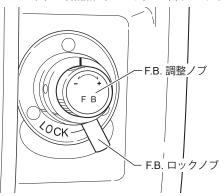
Initialize

Error!

2-2 フランジバック調整

ズームレンズの結像面と TV カメラの結像面が合致していないと、ズームを行ったときフォーカスが合わなくなります。 下記の手順でレンズのフランジバックを調整してください。

- 適当と思われる距離(UJ122x8.2B AF、UJ122x8.2B、UJ111x、UJ90x、UJ86x、UJ66x: 10 ~ 15m くらい、UJ27x: 3 ~ 5m くらい、XJ95x、XJ80x: 10 ~ 15m くらい)に被写体を定めます。コントラストのはっきりしたものを被写体として利用すると作業がしやすくなります。
- 2 レンズを $1 \times ($ エクステンダーを使用しない状態) に 設定します。
- **3** アイリス操作でレンズの絞りを開放(オープン)にします。
- ▲ レンズのズームを望遠端(テレ端)にします。
- **5** フォーカス操作で焦点(ピント)を合わせます。
- **トレンズのズームを広角端(ワイド端)にします。**
- **7** レンズの F.B. ロックノブを緩め、F.B. 調整 ノブを回して焦点(ピント)を合わせます。



- **4** から**7** の操作を 2,3 回繰り返して、各ズーム端での 焦点(ピント)を合わせます。
- 正しい F.B. 調整ノブの位置が決まりましたら、 F.B. ロックノブを締めます。

『ご注意ください』

で使用のカメラとレンズが、リモートバックフォーカス(RBF)対応の場合は、カメラ側からフランジバック調整が可能です。詳細は、カメラをお求めになった販売店までお問い合わせください。

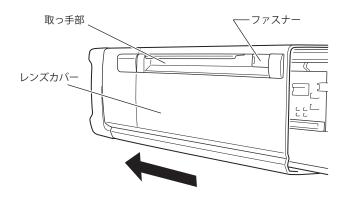
2-3 カバーの取外し/取付け

電気的設定・調整を行う場合には下記の手順でレンズカバー の取外し、取付けが必要となります。

『ご注意ください』

UJ122x8.2B AF はカバーの取外しはできません。

- レンズカバーの両端にあるファスナーのロックを解除 し、レンズカバーをレンズ前面方向に引き抜きます。
- 2 レンズカバーを元に戻す(レンズへ取り付ける)場合には、レンズ本体に設けられたガイドレールにレンズカバーを合わせてからマウント側端部に突き当たるまでレンズカバーを押し込み、ファスナーのマウント側端部に近いところを押してロックします。



『ご注意ください』

レンズカバーがレンズに取り付けられた状態では、常にファスナー がロックされていることを確認してください。

2-4 アイリスゲイン調整

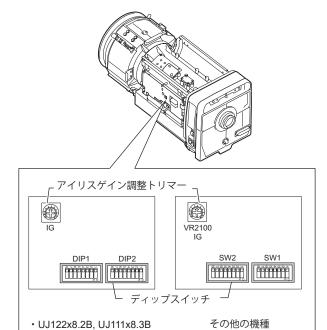
工場出荷時には、ゲイン調整を含めアイリス調整は適切に設定されています。しかし、応答性を変更したい場合は、下記の手順に従って、アイリスゲイン調整を行ってください。調整方法は、トリマー調整または情報ディスプレイにて行うことができます。(調整は後操作が優先されます。)

『ご注意ください』

アイリスの両端調整、エクステンダー挿入時のビデオレベル調整など、他のアイリス調整に関してはキヤノン(株)または、販売代理店にお問い合わせください。

トリマーによる調整(UJ122x8.2B AF を除く)

- ┃ レンズ本体よりレンズカバーを取り外します。
- 2 ディップスイッチ(アイリス選択スイッチ)SW2の 4番が OFF 側(I.CAMERA)に設定されていること を確認してください。 カメラからの指令信号によっては、OFF 側に設定され ていてもオートアイリスにならない場合があります。 詳細は、2-5「アイリスモード設定(オプション)」の「Iris Mode について」の表をご覧ください。
- **3** アイリスゲイン調整トリマーを回してゲイン調整を行います。トリマーを時計方向に回すとゲインが高くなり、反時計方向に回すとゲインが低くなります。

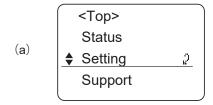


ディスプレイ上での調整

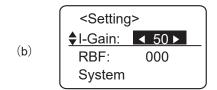
・操作方式が IESDA, IDSDA の機種

情報ディスプレイの操作手順:

- a. DISPLAY スイッチを押し、ディスプレイを表示させます。
 - ●を押し、Setting にカーソルを合わせます。 Set ボタンを押します。



b. **②**を押し、I-Gain にカーソルを合わせます。



c. カーソルボタンの ①、または ① を押し、設定したい任意の数値をディスプレイに表示させてください。

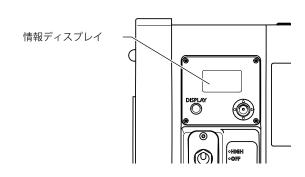
選択項目	01	~	99
機能	ゲイン最小		ゲイン最大

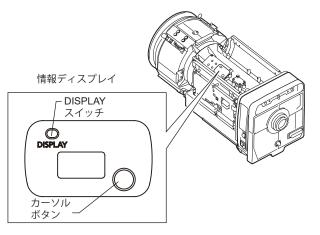
デフォルト値:50

『ご注意ください』

- アイリスの動作を確認しながらゲイン調整を行う際は、カメラのアイリスモードを [AUTO] にします。
- ハンチングがおこらない範囲で、ゲインが最高になるよう 設定してください。

詳細な設定については、「**ディスプレイ操作マニュアル**」を で覧ください。





2-5 アイリスモード設定 (UJ122x8.2B AF を除く)

ディップスイッチ(アイリス選択スイッチ)SW2の4番はOFF側に設定した状態で工場出荷されています。下の表はスイッチの設定位置と信号の関係を示したものです。

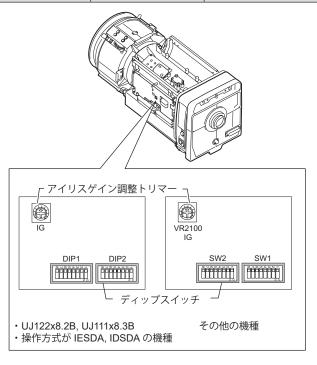
I Iris Mode について

アイリスのコントロール、操作は次の3通りの指令信号で決まります。

- カメラからの強制オート指令信号 (IRIS ENF) (カメラによっては、この指令信号を供することができないものがあります。)
- カメラからのオート/リモート指令信号(IRIS A/R)
- **3** レンズ本体内のディップスイッチ (SW2) 4番の設定位置 (ON 側: I.LOCAL / OFF 側: I.CAMERA ただし、仕様により I.LOCAL が使用できない場合もあります。)

下表はこれら3通りの指令信号とアイリスの操作をどこから行われるかを示しています。

ディップスイッチの	カメラからの指令信号		アイリス操作のユニット	アイリスモード	
設定位置	IRIS ENF	IRIS A/R	アイリス採TFのユニット	71920	
OFF	強制 ON	オート	カメラ	オートアイリス	
OFF	強制 ON	リモート	カメラ	リモートアイリス	
OFF	強制 OFF	オート	カメラ	オートアイリス	
OFF	強制 OFF	リモート	カメラ	リモートアイリス	
ON	強制 ON	オート	カメラ	オートアイリス	
ON	強制 ON	リモート	カメラ	リモートアイリス	
ON	強制 OFF	オート	スイッチボックス	リモートアイリス	
ON	強制 OFF	リモート	スイッチボックス	リモートアイリス	



2-6 ディスプレイによる各種設定

情報ディスプレイから設定可能な機能の一覧です。設定方法の詳細は「ディスプレイ操作マニュアル」をご覧ください。

	ディスプレイ 操作マニュアル 参照ページ		
RBF	フランジバック位置の設定	7	
レンズ名称	レンズコードの設定		9
	アイリスゲイン	オートアイリスゲインの設定	6、15
 	7192912	リモートアイリスゲインの設定	15
7 1 2 2 100 100	アイリス補正機能の ON / OFF		15
	クローズ検出機能の ON / OFF		16
	AF 枠の移動ステップ数の設定		10
AF* ¹	AF 枠の移動速度の設定		10
AF"	AF 枠サイズの設定 (横方向 / 縦方向)		11
	AF 枠設定の初期化		11
	ズームサーボの立上がり特性		12
	ズームサーボの止まり際特性	12	
	メカ端部の止まり際特性	12	
→* / #u/#n	プリセット	ズームサーボの立上がり特性	12
ズーム制御		ズームサーボの止まり際特性	12
	アナログデマンドカーブ特性	13	
	CAM モードの設定	13	
	デマンドからのサーボモード設定	14	
フォーカス制御	デマンドのカーブ特性		14
タリー	タリーの機能の ON / OFF 設定		8
\$ 9 -	タリーの光量の設定		9
インジケーター	インジケーターの点灯/消灯		7
CAFS	CAFS 機能の ON / OFF		8
バーチャル出力	バーチャル出力設定	8	
	メカロック設定	16	
IS* ²	操作スイッチ設定	17	
	モード設定		17
その他	カメラシリアル通信の有効/無効	9	
リセット操作	デフォルト値へリセット		1、17

^{*1} AF 機能搭載機種のみ

^{*2} IS 機能搭載機種のみ

2-7 カメラ組込型フォーカスデ マンド (オプション*)

*DIGISUPER シリーズのみのオプションです。

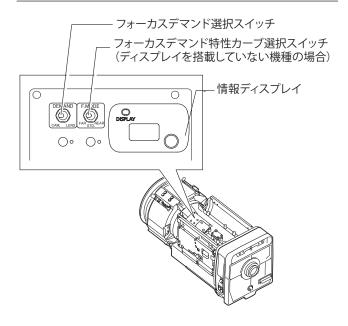
一部のカメラには、カメラ組込みタイプのサーボフォーカ スデマンドがオプションとして用意されています。

レンズ本体よりレンズカバーを取り外します。

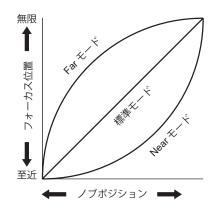
フォーカスデマンド選択スイッチを"CAM"側に設定 し直します。

『ご注意ください』

通常、工場出荷時にはこの選択スイッチは "LENS" 側に設定されて います。



ディスプレイ上でフォーカスデマンド特性カーブを設 定します。(以下の3種類の特性カーブの中からひと つのモードを選択することができます。) 設定方法に ついては「**ディスプレイ操作マニュアル**」をご覧くだ さい。



STD (標準モード): 操作ノブの回転量に対するフォーカスレンズ

グループの移動量の関係がほぼリニアな標準

的な特性モード。

遠距離の被写体の焦点合わせがやり易くなる FAR $(Far \pm - F)$:

ように、無限遠でのカーブの特性を緩やかに して、遠距離の分解能を上げたモード スポーツ中継のような比較的距離がある被写

体を撮る場合に、便利で有効。

NEAR (Near $\pm - \parallel$):

Far モードとは反対に、至近側での焦点合わせがやり易くなるように、至近側でのカーブ特性を緩やかにして、近距離での分解能を上

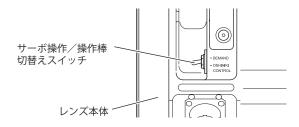
げたモード

スタジオ内撮影のような限られた空間で、近 距離の被写体を撮る場合に便利で有効。

2-8 操作モード(サーボ操作/ 操作棒操作)の切替え

(IDSD、IDSDA タイプのレンズのみ)

サーボ操作/操作棒切替えスイッチを OSHIHIKI CONTROL 側にして電源を投入します。

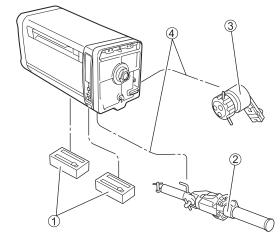


3-1 ズーム・フォーカスを操作 する

サーボデマンドで操作する

以下のような構成によりズームおよびフォーカス操作を行います。

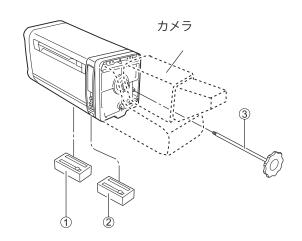
操作方法につきましては、で使用の各デマンドの取扱説明 書をご覧ください。



- ① サーボモジュール
- ② ズームデマンド
- ③ フォーカスデマンド
- ④ デマンドケーブル

操作棒で操作する

以下のような構成によりズームおよびフォーカス操作を行います。



- ① サーボモジュール
- ② ハイスピードサーボモジュール
- ③ 操作棒

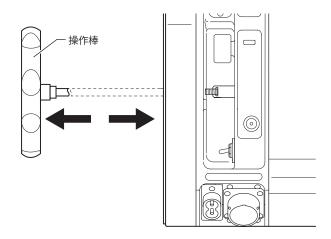
■ズーム操作

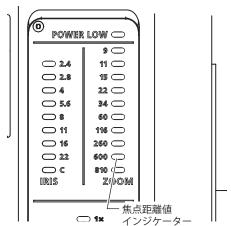
操作棒を押したり引いたりすることでズーム操作を行います。

カメラ側から見て、操作棒を

- ・ 押し込むとテレ(望遠)側に
- 引くとワイド(広角)側に

また、撮影時のズーム値は、レンズ本体側面のインジケーターで、おおよその値を確認できます。



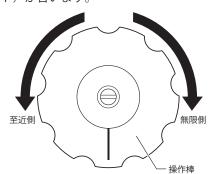


■フォーカス操作

操作棒を回してフォーカス操作を行います。 カメラ側から見て操作棒を

- ・ 時計方向に回すと無限側に
- 反時計方向に回すと至近側に

焦点(ピント)が合います。



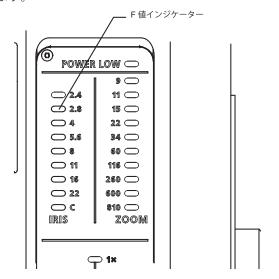
3-2 アイリスを操作する

通常、レンズのアイリス操作は、カメラ CCU からの指令による位置サーボコントロール方式です。オートアイリス制御または、リモートアイリス制御への切替えが可能です。特殊仕様として、スイッチボックス(特殊版)を使用してカメラマンがリモートアイリス制御も行うことができます。

カメラから制御する

オートアイリスの場合も、リモートアイリスの場合も、通常カメラの CCU より制御されます。(操作の詳細につきましては、カメラメーカー発行の TV カメラ取扱説明書をご覧ください。)

撮影中のアイリスの F 値は、レンズ本体側面部(カメラ側から見て左側)にあるインジケーターにて概略の値を確認できます。



インジケーターに示される数値は機種により異なります。

■ 選択スイッチを設定する (UJ122x8.2B AF を除く)

工場出荷時にはディップスイッチ (SW2) の4番は OFF 側 (I.CAMERA) に設定されており、カメラからアイリス操作が行えるようになっています。万一、アイリス操作ができない場合は下記の手順により、ディップスイッチ (SW2) の4番の設定位置を確認してください。

OFF 側:カメラからのアイリス操作が可能

ON 側:スイッチボックスなどからのアイリス操作が可能

┃ レンズ本体よりレンズカバーを取り外します。

2 ディップスイッチの設定位置が OFF 側になっている かをご確認ください。もし、ON 側に設定されていましたら、OFF 側に設定し直してください。

スイッチボックスから制御する

アイリスを制御する機能を有するスイッチボックスを使用すれば、スイッチボックスよりレンズのアイリスを操作することができます。

『ご注意ください』

リモートバックフォーカス対応機種はサービスマンによる設定変更 が必要なため、以下の方法では設定ができません。販売代理店また はキヤノン㈱にお問い合わせください。

選択スイッチを設定する

スイッチボックスからアイリス操作を行うためには、レンズ側の設定作業が必要になります。以下の手順で、設定を 行ってください。

▲ レンズ本体のレンズカバーを取り外します。

2 ディップスイッチを ON 側(I.LOCAL)に設定し直してください。

■ 操作する

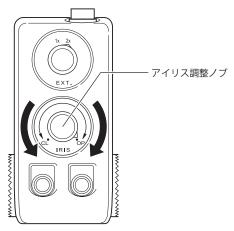
アイリス調整ノブを以下のように回してアイリス操作を行います。

時計方向に回す: アイリスがオープン方向へ動きビデオ

レベルが上がります。

反時計方向に回す: アイリスがクローズ方向へ動きビデオ

レベルが下がります。



アイリスをカメラの CCU より操作する場合と同様に、概略の F値はインジケーターにて確認することができます。

『ご注意ください』

- スイッチボックスの取付け・接続方法に関しては「スイッチボックスを取り付ける」(p.4)をご覧ください。
- 2-5「アイリスモード設定」に記載の表「Iris Mode について」に、 カメラからの指令信号、アイリス操作のユニット、アイリス選択ス イッチ位置の関係が記載されています。

3-3 エクステンダーを操作する

リモート操作

┃ ズームデマンドとスイッチボックスからリ ┃ モート操作する

ズームデマンドやスイッチボックスなどのアクセサリーからエクステンダーのリモート操作が行えます。

■ カメラからリモート操作する

エクステンダー切替え機能を有するカメラの場合、CCU またはカメラヘッドに設けられたエクステンダー操作ユニットからエクステンダーのリモート操作を行えます。カメラの取扱説明書を併せてご覧ください。

『ご注意ください』

- ズームデマンドやスイッチボックスなどを併用した場合は、最後に操作したユニットの操作指令信号に従って、エクステンダーが切り替わります。
- リモート操作時でも、エクステンダー切替えノブによりエクステンダーを切り替えることが可能です。

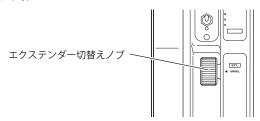
マニュアル操作

エクステンダーのリモート機構が故障したり、エクステンダー操作ユニットがない場合などの緊急事態においては、エクステンダーをマニュアルでコントロールできるようになっています。

■ 操作する

エクステンダー切替えノブを手動で回してエクステンダー 操作を行います。

インジケーター上に何倍のエクステンダーが挿入されたかを LED が点灯して表示します。(操作途中においてはインジケーター上のエクステンダー表示 LED は全て消灯しています。)



3-4 AF (オートフォーカス) 機 能を操作する

(AF 機能搭載機種のみ)

AF機能を操作するには、AF機能対応デマンドが必要です。 各機能の設定や AF操作上の注意点については、AF機能対 応デマンドの取扱説明書をご覧ください。

■ AF 機能に関する注意

・次のような被写体は AF にてピント合わせができない場合があります。

AFの苦手な被写体の例

- ・コントラストの低い被写体:青空、単色の平面
- ・特に動きの速い被写体
- ・夜景や暗い所にある被写体

レンズのフランジバックは周辺環境の温度変化により若干変化する場合があります。オートフォーカスによる合焦性能を発揮するためには、適宜フランジバックの確認を行っていただくことをお奨めします。

3-5 IS 機能を操作する

(IS 機能搭載機種のみ)

基本操作を確認する

ゆれが目立つ場合には IS 機能を ON させて、像ブレ補正を 行います。

選択したIS機能によっては素早いパンチルト操作を行うと、映像が意図しない不自然な動きをすることがあります。これはパンチルトの動きを像ブレとして検出し、その補正を行うべく作動することによるものです。パンチルト操作は、できるだけ不自然な動きが目立たない操作特性(STD)に切り替えていただいた上でで使用ください。また、ウォーミングアップ中は防振機能が充分に発揮されないことがありますので、ご注意ください。

IS 機能の操作環境を設定する

撮影中の IS 機能操作は、IS 操作スイッチやその他のアクセサリーで操作します。

■ IS 操作スイッチを使用する場合

中央のボタンを「押す」「離す」または「押し続ける」などして操作を行います。



IS 操作スイッチ機能付きアクセサリーを使用 する場合

スイッチの位置や設定方法などはアクセサリーの取扱説明書をご覧ください。

『ご注意ください』

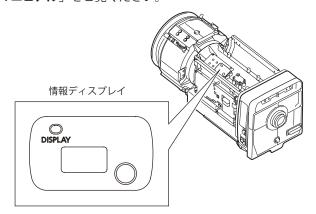
スイッチを「押す」「離す」または「押し続ける」ときの IS 機能の動作はレンズ本体の設定により異なります。

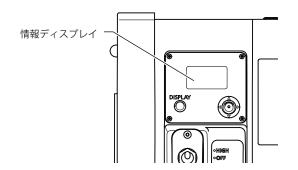
■ IS 操作スイッチの設定

Alt	スイッチを押すたびに「IS SW-ON」「IS SW-OFF」 が切り替わるオルタネイト動作
Mom	スイッチを押している間のみ「IS SW-ON」になる モーメンタリー動作

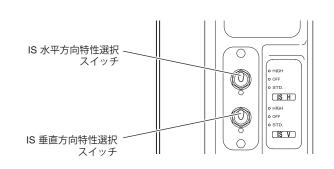
※出荷時は Alt に設定されています。

情報ディスプレイで設定を行ってください。 情報ディスプレイの操作手順の詳細は、「ディスプレイ操作 マニュアル」をご覧ください。





IS 機能の有効方向と特性を設定する



IS 水平(垂直)方向特性選択スイッチを切り替えて以下の3種類のモードから選択します。

標準特性(STD.)	ゆっくりとしたカメラワークによる低周波の
	ゆれを考慮した処理を施して不自然な動きを
	抑制しており、常時作動でも違和感なくお使
	いいただける特性です。
最大特性(HIGH)	周波数帯のゆれ補正を最大の抑振特性で行う
	ように設定されます。静止したショットで低
	周波数のゆれが気になる場合に、この最大特
	性を選択すると防振効果が向上します。
停止(OFF)	IS の機能を停止します。

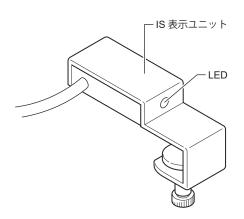
IS 機能の設定を応用する

情報ディスプレイで設定を行ってください。 情報ディスプレイの操作手順の詳細は、「ディスプレイ操作マニュアル」をご覧ください。 以下に IS 表示ユニットの表示も含め代表的な組み合わせの例を示します。

塗りつぶし箇所 で IS 表示ユニットの LED が点灯します。

IS モード設定	< IS SW- (Mom の場合はスイッ →特性選択スイ	< IS SW-OFF 状態> (Mom の場合はスイッチを 押していない状態)	
	Н	V	押していない状態)
	Hi	Hi	OFF
	STD	Hi	OFF
OFF	OFF	Hi	OFF
(デフォルト設定)	STD	STD	OFF
	OFF	STD	OFF
	OFF	OFF	OFF
	Hi	Hi	STD
	STD	Hi	STD
CTD	OFF	Hi	STD
STD	STD	STD	STD
	STD	OFF	STD
	Hi	OFF	STD

※電源投入時は「Alt」時 IS SW-ON 状態で立ち上がります。 「Mom」時 IS SW-OFF 状態で立ち上がります。



■ ビューファインダーから確認する

ビューファインダーに動作状態を表示する機能を備えているカメラをご使用の場合、そちらで確認することもできます。 詳しくはカメラの取扱説明書をご覧ください。

4 その他の機能とオプション

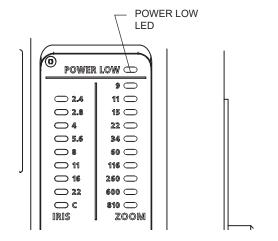
4-1 電圧不足を確認する

レンズ本体側面部(カメラ側から見て左側)のインジケーターの上方に POWER LOW と表示されたレンズへの供給電圧不足を警告する LED が設けられています。供給電圧により LED は下記のように点灯します。

赤色点灯: 10V 以下 消灯: 供給電圧正常

したがって、LED が赤色に点灯しているときは、レンズへの供給電圧を何らかの手立てで 10.5V 以上に上げることが必要です。

電圧不足の場合は、正常にレンズが機能しないので、ご注意ください。

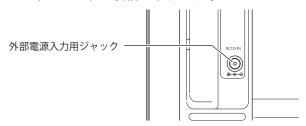


インジケーターに示される数値は機種により異なります。

4-2 外部電源を利用する

(IESD, IESDA タイプのレンズのみ / ズーム高速仕様は除く)

レンズ本体側面部(カメラ側から見て右側)に、外部電源入力用ジャックが付いています。ハンディカメラとの組み合わせなどでレンズへの供給電力が不足した場合にバッテリーなどから、この入力用ジャックを使用し、外部からDC12V(10V-17V)を供給してください。



『ご注意ください』

バッテリーやアダプターをで使用の際は、各メーカーにより定格電 圧が高めに出力されている場合がありますので、必ず下記の電圧範 囲でで使用ください。正常動作範囲外の電圧で使用すると故障の原 因となることがあります。

定格電圧:DC12V

正常動作範囲: DC10V ~ 17V

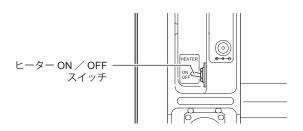
また、レンズ電源入力には極性があります。 バッテリーやアダプターをレンズに接続する際は、電源ケーブルの極性を必ずで確認ください。 誤った極性で接続すると故障の原因となることがあります。

4-3 ヒーターシステム (オプション)

レンズを暖めることによりレンズ内部の曇りを防止するためのヒーターシステムを搭載することが可能です。ヒーターシステムの操作は次のように行います。

カメラ側から見てレンズの右サイドのヒーター ON / OFF スイッチを ON にします。

2 ヒーターを停止するときは、ヒーター ON / OFF ス イッチを OFF にします。



『ご注意ください』

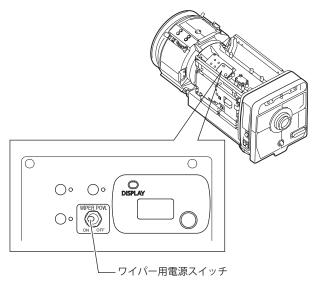
ヒーターが ON のときは消費電力が大きいため、回路的にサーボズーム操作とサーボフォーカス操作ができないようになっています。

サーボ操作を行う場合は、ヒーターの使用を停止してください。

4-4 ワイパーシステム(オプション)

■ ワイパー電源の確認

ワイパー電源スイッチが ON になっていることをご確認ください。(ワイパー用電源スイッチの位置は、機種や仕様により異なります。)



ワイパー動作は操作するアクセサリーによって異なります。で使用になるアクセサリーの取扱説明書をご覧ください。

『ご注意ください』

- ワイパーのガラスにほこり,油,異物などが付いている状態でワイパー操作を行うと、ガラスに傷を付ける恐れがあります。作動前に十分な清掃を行ってください。
- 低温環境下での使用や雪などのふき取りを行うと、ガラス表面が 結露する場合があります。
- 水滴の付いていない状態での乾ふき操作はゴムブレードを劣化させ、ふき残りの原因となりますのでお控えください。
- ゴムブレードの磨耗、変形、損傷によりふき残りが発生した場合 は交換が必要です。キヤノン(株)までお問い合わせください。
- ワイパー用電源スイッチを OFF にすると、ワイパーを手動で動かすことが可能です。
 - ON の状態で、ワイパーを動かさないでください。

4-5 乾燥ガス封入 (オプション)

空気中の水分によるレンズ内部の曇りや結露の発生を抑えるため、レンズ内部に乾燥ガスを封入することができます。 乾燥ガスは定期オーバーホールのときに再充填できます。 また、重要なイベントなどの前にも再充填することを推奨 します。

『ご注意ください』

乾燥ガス再充填にあたりガスボンベ、充填器具が必要になりますので、キヤノン(株)、または販売代理店までご相談ください。

5 仕様

UHD-DIGISUPER

■IESD

IESD			UJ122x8.2B AF	UJ122x8.2B			
焦点距離 -		1×	8.2–1000mm				
		2×	16.4–2000mm				
Ĭ.	ーム比		122	2 ×			
最大口	 径比	1×	1:1.7 (at 8.2–340mm) 1:5.0 (at 1000mm)				
JX/\L	王 迈	2×	1:3.4 (at 16.4-680mm) 1:10.0 (at 2000mm)				
有効i	画面寸法		9.6 × : (対角 ·				
	広角端	1×	60.7° × 36.5	o (at 8.2mm)			
包括角度	四円响	2×	32.6° × 18.7° (at 16.4mm)				
CIDAIX	望遠端	1×	0.55° × 0.31°	(at 1000mm)			
	主心训	2×	0.28° × 0.15°	(at 2000mm)			
	近距離 (前玉より)		3.0m (マクロ時 0.1m)*				
	広角端	1×	314.6 × 177.0cm (at 8.2mm)	314.8 × 177.1cm (at 8.2mm)			
至近での	1247J 4111	2×	157.3 × 88.5cm (at 16.4mm)	157.4 × 88.6cm (at 16.4mm)			
撮像範囲	望遠端	1×	2.7 × 1.5cm (at 1000mm)	2.7 × 1.5cm (at 1000mm)			
		2×	1.4 × 0.8cm (at 2000mm)	1.4 × 0.8cm (at 2000mm)			
ズーム	スピード		全域 最高速 0.6 ± 0.1s (標準仕様) 全域 最高速 0.35 ± 0.1s (高速仕様)				
フォーカ	コススピード		全域 最高速 0.8 ± 0.1s				
アイリ	ススピード		0.8 ± 0.15s				
マ	ウント		B4 マウント				
所要入力電圧			標準仕様DC12V(DC10V-17V)・高速仕様DC12V(DC10V-17V)-高速仕様DC12V(DC10V-17V)AC100V 電源 : AC100V 0.5A または 専用 DC 電源 : DC19V(DC19V±0.95V)				
消費電力			最大 24W(カメラからの入力電源分) 最大 50W(専用電源分)				
使用環境条件			-20℃~ +45℃				
×	大きさ		外観図参照				
フランジバック			外観図参照				

^{*}操作にはオプションのマクロコントローラーが別途必要となります。

■IESD

			UJ111x8.3B			
焦点距離 —		1×	8.3–925mm			
		2×	16.6–1850mm			
ズー	- ム比		111 ×			
最大口径	1×		1:1.7 (at 8.3–340mm) 1:4.65 (at 925mm)			
яхлы	II.	2×	1:3.4 (at 16.6–680mm) 1:9.3 (at 1850mm)			
有効画	画面寸法		9.6 × 5.4mm (対角 11mm)			
		1×	60.1° × 36.0° (at 8.3mm)			
944 A da	広角端	2×	32.3° × 18.5° (at 16.6mm)			
包括角度 -	÷8/±1m	1×	0.59° × 0.33° (at 925mm)			
	望遠端	2×	0.30° × 0.17° (at 1850mm)			
	近距離 前玉より)		3.0m (マクロ時 0.1m)*			
	広角端	1×	311.6 × 175.3cm (at 8.3mm)			
至近での	四円輪	2×	155.8 × 87.7cm (at 16.6mm)			
撮像範囲	望遠端	1×	2.9 × 1.6cm (at 925mm)			
	主述姍	2×	1.5 × 0.8cm (at 1850mm)			
ズーム	スピード		全域 最高速 0.6 ± 0.1s (標準仕様) 全域 最高速 0.35 ± 0.1s (高速仕様)			
フォーカ	ススピード		全域 最高速 0.8 ± 0.1s			
アイリス	ススピード		0.8 ± 0.15s			
₹	ウント		B4 マウント			
所要入力電圧			力メラより外部電源より標準仕様DC12V(DC10V-17V)-高速仕様DC12V(DC10V-17V)-AC100V 電源 : AC100V 0.5A または 専用 DC 電源 : DC19V(DC19V±0.95V)			
消費電力			最大 24W(カメラからの入力電源分) 最大 50W(専用電源分)			
使用環境条件			-20℃~ +45℃			
大	きさ		外観図参照			
フランジバック			外観図参照			

^{*}操作にはオプションのマクロコントローラーが別途必要となります。

■IESD

ILSD	IIESD					
			UJ86x9.3B			
1× 焦点距離 2×		1×	9.3–800mm			
		2×	18.6–1600mm			
ズ	ーム比		86 ×			
	⟨⊅ LI,	1×	1:1.7 (at 9.3–340mm) 1:4.0 (at 800mm)			
最大口	全 几	2×	1:3.4 (at 18.6–680mm) 1:8.0 (at 1600mm)			
有効	画面寸法		9.6 × 5.4mm (対角 11mm)			
	A IIII	1×	54.6° × 32.4° (at 9.3mm)			
力长名应	広角端	2×	28.9° × 16.5° (at 18.6mm)			
包括角度	望遠端	1×	0.69° × 0.39° (at 800mm)			
	主逐编	2×	0.34° × 0.19° (at 1600mm)			
	近距離 (前玉より)		3.0m			
	広角端	1×	271.9 × 152.9cm (at 9.3mm)			
至近での		2×	136.0 × 76.5cm (at 18.6mm)			
撮像範囲	望遠端	1×	3.3 × 1.9cm (at 800mm)			
	主逐蜵	2×	1.7 × 1.0cm (at 1600mm)			
ズーム	ムスピード		全域 最高速 0.6 ± 0.1s (標準仕様) 全域 最高速 0.35 ± 0.1s (高速仕様)			
フォーカ	コススピード		全域 最高速 0.8 ± 0.1s			
アイリ	ススピード		0.8 ± 0.15s			
マ	ウント		B4 マウント			
所要入力電圧			DC12V(DC10V ~ 17V)(カメラからの入力電源分) AC100V 0.5A (専用電源分)または DC19V(DC19V ± 0.95V)(専用電源分)			
消費電力			最大 24W(カメラからの入力電源分) 最大 50W(専用電源分)			
使用	使用環境条件		-20°C∼ +45°C			
t	たきさ		外観図参照			
フランジバック			外観図参照			

■IESD/IESDA

			UJ90x9B			UJ27x6.5B
1× 焦点距離 2×		1×	9–810mm			6.5–180mm
		2×	18–1620mm		13–360mm	
ズ	ーム比		90 ×			27 ×
最大口径比 2×		1×	1:2.4 (at 9–486mm) 1:4.0 (at 810mm)			1:1.5 (at 6.5–123mm) 1:2.2 (at 180mm)
		2×	1:4.8 (at 18–972mm) 1:8.0 (at 1620mm)			1:3.0 (at 13–246mm) 1:4.4 (at 360mm)
有効	画面寸法		9.6 × 5.4mm (対角 11mm)			9.6 × 5.4mm (対角 11mm)
	広角端	1×	56.1° \times 33.4° (at 9mm)			72.9° × 45.1° (at 6.5mm)
与任免由		2×	29.9° × 17.1° (at 18mm))		40.5° × 23.5° (at 13mm)
包括角度	望遠端	1×	0.68° × 0.38° (at 810mm	n)		3.1° × 1.7° (at 180mm)
	主逐编	2×	$0.34^{\circ} \times 0.19^{\circ}$ (at 1620mm	n)		1.5° × 0.9° (at 360mm)
	近距離 (前玉より)		3.0m (IESDA のみマクロ時 0.1m)*		0.6m	
	÷ 4.14	1×	287.9 × 161.9cm (at 9mm)		106.1 × 59.7cm (at 6.5mm)	
至近での	広角端	2×	144.0 × 81.0cm (at 18mm)		53.1 × 29.9cm (at 13mm)	
撮像範囲	望遠端	1×	3.3 × 1.9cm (at 810mm)			3.8 × 2.1cm (at 180mm)
		2×	1.7 × 1.0cm (at 1620mm)			1.9 × 1.1cm (at 360mm)
ズームスピード			全域 最高速 0.6 ± 0.1s (標準仕様) 全域 最高速 0.35 ± 0.1s (高速仕様)			最高速 0.5 ± 0.1s (標準仕様) 最高速 0.3 ± 0.1s (高速仕様)
フォーカ	コススピード		全域 最高速 0.8 ± 0.1s			
アイリ	ススピード		0.8 ± 0.15 s			
マ	ウント		B4 マウント			
所要入力電圧			力メラより外部電源より標準仕様DC12V(DC10V-17V)-高速仕様DC12V(DC10V-17V)AC100V 電源 : AC100V 0.5A または 専用 DC 電源 : DC19V(DC19V±0.95		- 力): DC12V(DC10V-17V) 電源: AC100V 0.5A または	
消費電力			最大 24W(カメラからの入力電源分) 最大 50W(専用電源分)		源分)	
使用環境条件			-20℃~ +45℃			
大きさ			外観図参照			
フランジバック			外観図参照			

^{*}操作にはオプションのマクロコントローラーが別途必要となります。

■IESD/IESDA

IESD/I	LODA			
			UJ66x9B	
焦点距離		1×	9-600mm	
711(711(2)	然無距離 2×		18-1200mm	
ズ	ーム比		66 ×	
1× 最大口径比		1×	1:1.7 (at 9–340mm) 1:3.0 (at 600mm)	
取八口	T±LU	2×	1:3.4 (at 18–680mm) 1:6.0 (at 1200mm)	
有効	画面寸法		9.6 × 5.4mm (対角 11mm)	
	 広角端	1×	56.1° × 33.4° (at 9mm)	
包括角度		2×	29.9° × 17.1° (at 18mm)	
已归丹皮	望遠端	1×	0.92° × 0.52° (at 600mm)	
	主燃剂	2×	0.46° × 0.26° (at 1200mm)	
	近距離 (前玉より)		3.0m	
	広角端	1×	287.9 × 161.9cm (at 9mm)	
至近での	/公円 4冊	2×	144.0 × 81.0cm (at 18mm)	
撮像範囲	望遠端	1×	4.4 × 2.5cm (at 600mm)	
	主心训	2×	2.2 × 1.3cm (at 1200mm)	
ズーム	ムスピード		全域 最高速 0.6 ± 0.1s	
フォーカ	カススピード		全域 最高速 0.8 ± 0.1s	
アイリ	ススピード		0.8 ± 0.15s	
マウント			B4 マウント	
所要入力電圧			DC12V (DC10V ~ 17V)	
消費電力			最大 24W(カメラからの入力電源分)	
使用環境条件			-20℃~ +45℃	
大きさ			外観図参照	
フラン	ノジバック		外観図参照	

IDSD

IDSD						
			UJ122x8.	2B	UJ111x8.3B	
1× 焦点距離 2×		1×	8.2–1000mn	n	8.3–925mm	
		2×	16.4–2000mm		16.6–1850mm	
ズ	ーム比		122 ×		111 ×	
日上口	1×		1:1.7(at 8.2–340 1:5.0(at 1000n		1:1.7 (at 8.3–340mm) 1:4.65 (at 925mm)	
最大口	1至比	2×	1:3.4 (at 16.4-68 1:10.0 (at 2000)	·	1:3.4 (at 16.6–680mm) 1:9.3 (at 1850mm)	
有効	画面寸法				5.4mm 11mm)	
	- A III	1×	60.7° × 36.5° (at 8	3.2mm)	60.1° × 36.0° (at 8.3mm)	
与长免疫	広角端 	2×	32.6° × 18.7° (at 1	6.4mm)	32.3° × 18.5° (at 16.6mm)	
包括角度	望遠端	1×	0.55° × 0.31° (at 10	000mm)	0.59° × 0.33° (at 925mm)	
	主感剂	2×	0.28° × 0.15° (at 20	000mm)	0.30° × 0.17° (at 1850mm)	
	近距離 (前玉より)		3.0m (マクロ時 0.1m)*			
	広角端	1×	314.8 × 177.1cm (at 8.2mm)		311.6 × 175.3cm (at 8.3mm)	
至近での	四月姍	2×	157.4 × 88.6cm (at 16.4mm)		155.8 × 87.7cm (at 16.6mm)	
撮像範囲	望遠端	1×	2.7 × 1.5cm (at 10	000mm)	2.9 × 1.6cm (at 925mm)	
		2×	1.4 × 0.8cm (at 20	00mm)	1.5 × 0.8cm (at 1850mm)	
ズーム	ズームスピード		専用電源AC100VまたはDC電源(19V)、またはDC電源(XLR型4ピン) 入力の場合操作標準仕様ズームデマンド高速仕様押し引き時全域 最高速 0.35 ± 0.1sデマンド使用時全域 最高速 0.6 ± 0.1s全域 最高速0.35 ± 0.1s			
フォーカ	ウススピート	2	全域 最高速 0.8±0.1s			
アイリ	ススピード		0.8±0.15s			
₹	ウント		B4マウント			
所要入力電圧			力メラより 外部電源より 標準仕様 DC12V(DC10V-17V) - 高速仕様 DC12V(DC10V-17V) AC100V 電源 : AC100V 0.5A または 専用 DC 電源 : DC19V(DC19V±0.8		- R型4ピン出力): DC12V(DC10V-17V) AC100V電源: AC100V 0.5A	
消費電力			最大24W(カメラからの入力電源分) 最大50W(専用電源分)			
使用環境条件			-20℃~+45℃			
7	 大きさ		外観図参照			
フランジバック			外観図参照			
						

^{*}操作にはオプションのマクロコントローラーが別途必要となります。

■IDSD/IDSDA

IDSD/IDSDA						
	UJ27x6.5B					
焦点距離	1×	6.5–180mm				
無無足離		13–360mm				
ズーム比		27×				
	1×	1:1.5 (at 6.5–123mm) 1:2.2 (at 180mm)				
最大口径比	2×	1:3.0 (at 13–246mm) 1:4.4 (at 360mm)				
有効画面寸法		9.6×5.4mm (対角 11mm)				
- 6 III	1×	72.9°×45.1° (at 6.5mm)				
広角端 広角端	2×	40.5°×23.5° (at 13mm)				
包括角度 望遠端	1×	3.1°×1.7° (at 180mm)				
主逐响	2×	1.5° × 0.9° (at 360mm)				
至近距離 (レンズ前玉より)	0.6m				
広角端	1×	106.1×59.7cm (at 6.5mm)				
至近での	2×	53.1×29.9cm (at 13mm)				
撮像範囲望遠端	1×	3.8×2.1cm (at 180mm)				
	2×	1.9×1.1cm (at 360mm)				
ズームスピード		専用電源AC100VまたはDC19V 入力の場合 操作 標準仕様 ズームデマンド高速仕様 押し引き時 全域 最高速 0.3 ± 0.1s デマンド使用時 全域 最高速 0.5 ± 0.1s 全域 最高速0.3 ± 0.1s				
フォーカススピー	ド	全域 最高速 0.8±0.1s				
アイリススピート		0.8±0.15s				
マウント		B4マウント				
所要入力電圧		カメラより 外部電源より 標準仕様 DC12V(DC10V-17V) - 高速仕様 DC12V(DC10V-17V) DC 電源(XLR型4ピン出力): DC12V(DC10V-17V) AC100V 電源 : AC100V 0.5A または 専用 DC 電源 : DC19V(DC19V±0.95V)				
消費電力		最大24W(カメラからの入力電源分) 最大50W(専用電源分)				
使用環境条件		-20℃~+45℃				
大きさ		外観図参照				
フランジバック		外観図参照				

		XJ95x12.4B		XJ95x8.6B			
		4:3モード時 (IESDのみ)	16:9モード時	4:3モード時 (IESDのみ)	16:9モード時		
焦点距離		1×	12.4–1178mm		8.6–820mm		
		2×	24.8–2356mm		17.2–1640mm		
ズーム比		95×		95×			
最大口径比 ——		1×	1:2.5 (at 12.4–491mm) 1:6.0 (at 1178mm)		1:1.7 (at 8.6–340mm) 1:4.1 (at 820mm)		
		2×	1:5.0 (at 24.8–982mm) 1:12.0 (at 2356mm)		1:3.4 (at 17.2–680mm) 1:8.2 (at 1640mm)		
有効画面寸法			8.8×6.6mm (対角 11mm)	9.6×5.4mm (対角 11mm)	8.8×6.6mm (対角 11mm)	9.6×5.4mm (対角 11mm)	
		1×	39.1°×29.8° (at 12.4mm)	42.3°×24.6° (at 12.4mm)	54.2°×42.0° (at 8.6mm)	58.3°×34.9° (at 8.6mm)	
包括角度	広角端	2×	20.1°×15.2° (at 24.8mm)	21.9°×12.4° (at 24.8mm)	28.7°×21.7° (at 17.2mm)	31.2°×17.8° (at 17.2mm)	
巴口丹皮	望遠端	1×	0.43°×0.32° (at 1178mm)	0.47°×0.26° (at 1178mm)	0.61°×0.46° (at 820mm)	0.67°×0.38° (at 820mm)	
		2×	0.21°×0.16° (at 2356mm)	0.23°×0.13° (at 2356mm)	0.31°×0.23° (at 1640mm)	0.34°×0.19° (at 1640mm)	
	至近距離 (レンズ前玉より)		3.0m				
	広角端	1×	191.9×143.9cm (at 12.4mm)	209.5×117.8cm (at 12.4mm)	274.1×205.6cm (at 8.6mm)	298.1×167.7cm (at 8.6mm)	
至近での 撮像範囲		2×	96.0×72.0cm (at 24.8mm)	104.8×58.9cm (at 24.8mm)	137.1×102.8cm (at 17.2mm)	149.1×83.9cm (at 17.2mm)	
J4X 13X 年15 区口	望遠端	1×	2.1×1.6cm (at 1178mm)	2.3×1.3cm (at 1178mm)	3.0×2.3cm (at 820mm)	3.2×1.8cm (at 820mm)	
		2×	1.1×0.8cm (at 2356mm)	1.2×0.7cm (at 2356mm)	1.5×1.2cm (at 1640mm)	1.6×0.9cm (at 1640mm)	
ズーム	ズームスピード		全域 最高速 0.6±0.1s(標準仕様) 全域 最高速 0.35±0.1s(高速仕様)				
フォーカ	コススピード		全域 最高速 0.8±0.1s				
アイリ	ススピード		0.8±0.15s				
マウント		B4マウント					
所要入力電圧		カメラより 標準仕様 DC12V(DC10V-17V) DC 電源(XL 高速仕様 DC12V(DC10V-17V)		外部電源より - LR型4ピン出力): DC12V(DC10V-17V) AC100V電源: AC100V 0.5A または 専用 DC電源: DC19V(DC19V±0.95V)			
消費電力		最大24W(カメラからの入力電源分) 最大 50W(専用電源分)					
使用環境条件		-20℃~+45℃					
大きさ		外観図参照					
フランジバック		外観図参照					

■IESD/IESDA

			XJ80x8.8B			
			4:3モード時 (IESDのみ)	16:9モード時		
焦点距離		1×	8.8–710mm			
		2×	17.6–1420mm			
ズーム比			80×			
1x 最大口径比 2x		1×	1:1.7(at 8.8–340mm) 1:3.55(at 710mm)			
		2×	1:3.4 (at 17.6–680mm) 1:7.1 (at 1420mm)			
有効画面寸法			8.8×6.6mm (対角 11mm)	9.6×5.4mm (対角 11mm)		
	広角端	1×	53.1°×41.1° (at 8.8mm)	57.2°×34.1° (at 8.8mm)		
包括角度	اللاحالا	2×	28.1°×21.2° (at 17.6mm)	30.5°×17.4° (at 17.6mm)		
حاداتات	望遠端	1×	0.71°×0.53° (at 710mm)	0.77°×0.44° (at 710mm)		
	登逸端 	2×	0.36° × 0.27° (at 1420mm)	0.39°×0.22° (at 1420mm)		
	至近距離 (レンズ前玉より)		3.0m			
	広角端	1×	266.8×200.1cm (at 8.8mm)	290.0×163.1cm (at 8.8mm)		
至近での		2×	133.4×100.1cm(at17.6mm)	145.0×81.6cm (at 17.6mm)		
撮像範囲	望遠端	1×	3.4×2.6cm (at 710mm)	3.7×2.1cm (at 710mm)		
		2×	1.7×1.3cm (at 1420mm)	1.9×1.1cm (at 1420mm)		
ズーム	ムスピード		全域 最高速 0.6±0.1s			
フォーカススピード		?	全域 最高速 0.8±0.1s			
アイリススピード			0.8±0.15s			
マウント			B4マウント			
所要入力電圧			DC12V(DC10 ~ 17V)(カメラからの入力電力分)			
消費電力			最大24W(カメラからの入力電源分)			
使用環境条件			-20℃~+45℃			
大きさ			外観図参照			
フランジバック			外観図参照			

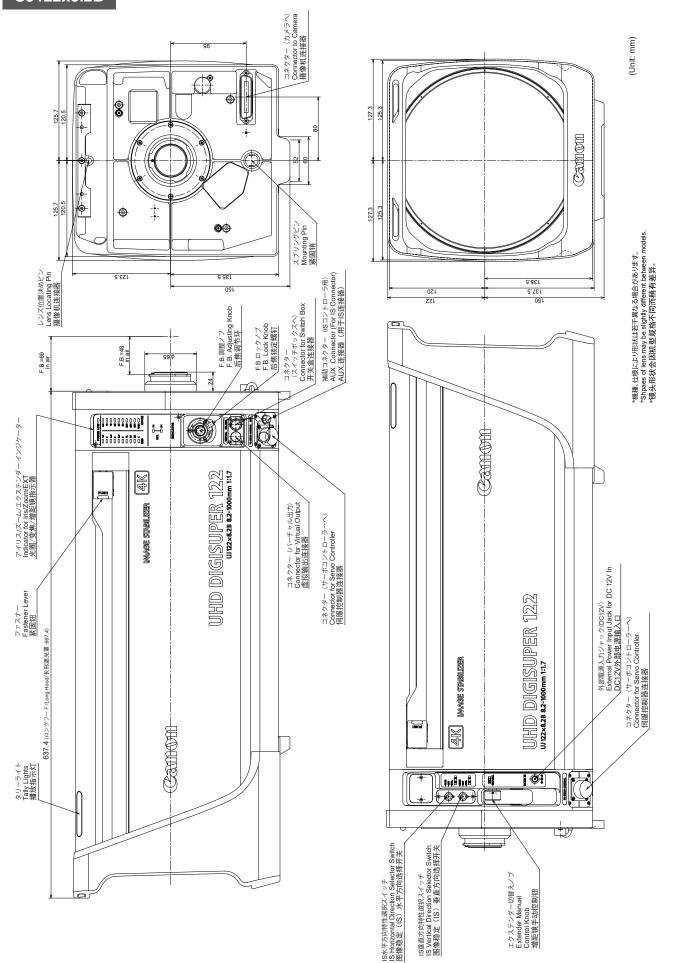
■IDSD

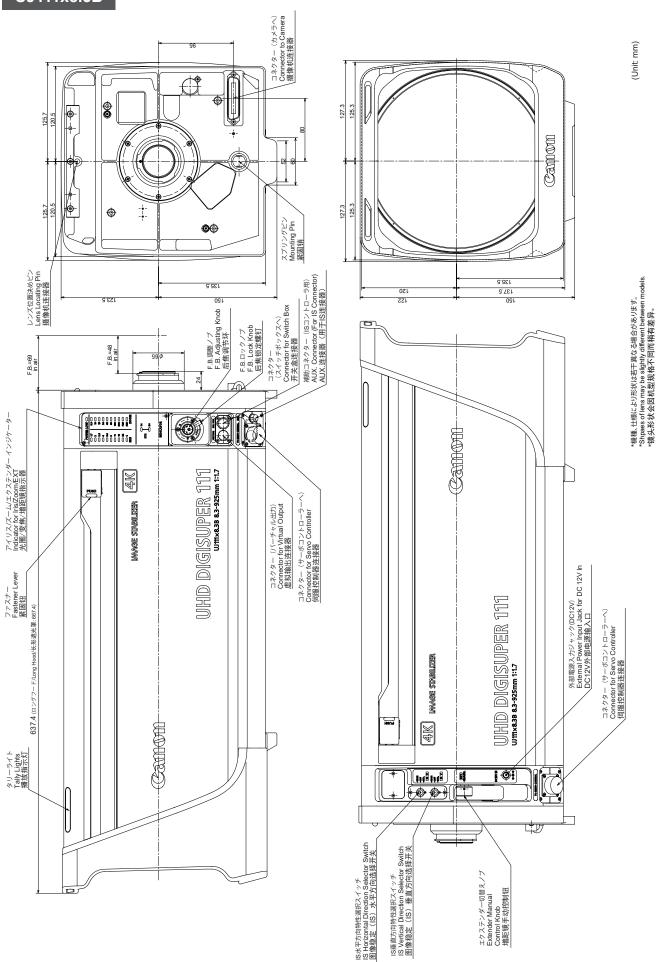
עפטו		XJ95x12.4B		XJ95x8.6B		
		4:3モード時	16:9モード時	4:3モード時	16:9モード時	
焦点距離		1×	12.4–1178mm		8.6–820mm	
		2×	24.8–2356mm		17.2–1640mm	
ズーム比		95×		95×		
最大口径比 ——		1×	1:2.5 (at 12.4–491mm) 1:6.0 (at 1178mm)		1:1.7 (at 8.6–340mm) 1:4.1 (at 820mm)	
		2×	1:5.0 (at 24.8–982mm) 1:12.0 (at 2356mm)		1:3.4 (at 17.2–680mm) 1:8.2 (at 1640mm)	
有効画面寸法			8.8×6.6mm (対角 11mm)	9.6×5.4mm (対角 11mm)	8.8×6.6mm (対角 11mm)	9.6×5.4mm (対角 11mm)
	広角端	1×	39.1°×29.8° (at 12.4mm)	42.3°×24.6° (at 12.4mm)	54.2°×42.0° (at 8.6mm)	58.3°×34.9° (at 8.6mm)
包括角度		2×	20.1°×15.2° (at 24.8mm)	21.9°×12.4° (at 24.8mm)	28.7°×21.7° (at 17.2mm)	31.2°×17.8° (at 17.2mm)
己括用度	÷0/+ III	1×	0.43°×0.32° (at 1178mm)	0.47°×0.26° (at 1178mm)	0.61°×0.46° (at 820mm)	0.67°×0.38° (at 820mm)
	望遠端	2×	0.21°×0.16° (at 2356mm)	0.23°×0.13° (at 2356mm)	0.31°×0.23° (at 1640mm)	0.34°×0.19° (at 1640mm)
至近距離 (レンズ前玉より)		3.0m				
	広角端	1×	191.9×143.9cm (at 12.4mm)	209.5×117.8cm (at 12.4mm)	274.1×205.6cm (at 8.6mm)	298.1×167.7cm (at 8.6mm)
至近での		2×	96.0×72.0cm (at 24.8mm)	104.8×58.9cm (at 24.8mm)	137.1×102.8cm (at 17.2mm)	149.1×83.9cm (at 17.2mm)
撮像範囲	望遠端	1×	2.1×1.6cm (at 1178mm)	2.3×1.3cm (at 1178mm)	3.0×2.3cm (at 820mm)	3.2×1.8cm (at 820mm)
		2×	1.1×0.8cm (at 2356mm)	1.2×0.7cm (at 2356mm)	1.5×1.2cm (at 1640mm)	1.6×0.9cm (at 1640mm)
			専用電源AC100VまたはDC19V 入力の場合			
	ズーム		操作	標準		デマンド高速仕様
7	スピード		押し引き時		或 最高速 0.35 ± 0.1s	
			デマンド使用時 全域 最高速 0.6 ± 0.1s 全域 最高速0.35 ± 0.1s			技局速0.35 ± 0.1s
フォーカススピード		全域 最高速 0.8±0.1s				
アイリススピード		0.8±0.15s				
マウント		B4マウント				
所要入力電圧		DC12V(DC10V ~ 17V)(カメラからの入力電源分) AC100V 0.5A (専用電源分)または DC19V±0.95V(専用電源分)				
消費電力		最大24W(カメラからの入力電源分) 最大50W(専用電源分)				
使用環境条件		-20℃~+45℃				
大きさ		外観図参照				
フランジバック		外観図参照				

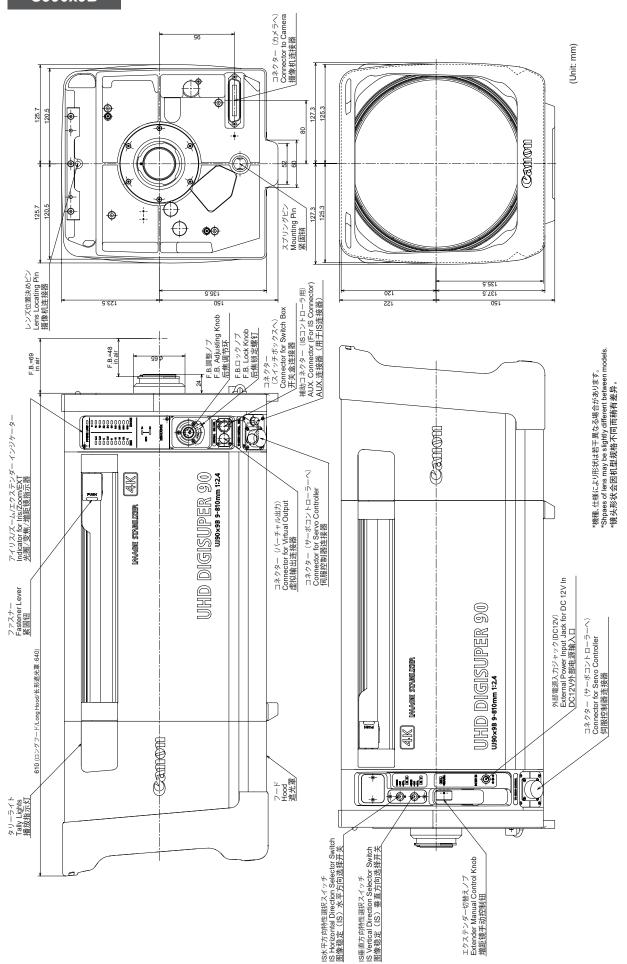
■IDSD

			XJ80x8.8B			
			4:3モード時	16:9モード時		
1× 焦点距離 2×		1×	8.8–710mm			
		2×	17.6–1420mm			
ズーム比			80×			
乱× 最大口径比 2×		1×	1:1.7 (at 8.8–340mm) 1:3.55 (at 710mm)			
		2×	1:3.4 (at 17.6–680mm) 1:7.1 (at 1420mm)			
有効画面寸法			8.8×6.6mm (対角 11mm)	9.6×5.4mm (対角 11mm)		
	広角端	1×	53.1°×41.1° (at 8.8mm)	57.2°×34.1° (at 8.8mm)		
包括角度)\(\(\D\) \(\dagger_1 \) \(\dagger_1	2×	28.1°×21.2° (at 17.6mm)	30.5°×17.4° (at 17.6mm)		
אורינונט	望遠端	1×	0.71°×0.53° (at 710mm)	0.77°×0.44° (at 710mm)		
	<u> </u>	2×	0.36° × 0.27° (at 1420mm)	0.39°×0.22° (at 1420mm)		
	至近距離 (レンズ前玉より)		3.0m			
	広角端	1×	266.8×200.1cm (at 8.8mm)	290.0×163.1cm (at 8.8mm)		
至近での		2×	133.4×100.1cm(at17.6mm)	145.0×81.6cm (at 17.6mm)		
撮像範囲	望遠端	1×	3.4×2.6cm (at 710mm)	3.7×2.1cm (at 710mm)		
	主坯端	2×	1.7×1.3cm (at 1420mm)	1.9×1.1cm (at 1420mm)		
			専用電源AC100VまたはDC19V 入力の場合			
ズーム	ズームスピード		操作標準ズームデマンド高速仕様押し引き時全域 最高速 0.35 ± 0.1sデマンド使用時全域 最高速 0.6 ± 0.1s全域 最高速0.35 ± 0.1s			
フォーカススピード			全域 最高速 0.8±0.1s			
アイリススピード			0.8±0.15s			
マウント			B4マウント			
所要入力電圧			DC12V(DC10V ~ 17V)(カメラからの入力電源分) AC100V 0.5A (専用電源分)またはDC19V±0.95V(専用電源分)			
消費電力			最大24W(カメラからの入力電源分) 最大50W(専用電源分)			
使用環境条件			-20°C∼+45°C			
大きさ 			外観図参照			
フランジバック			外観図参照			

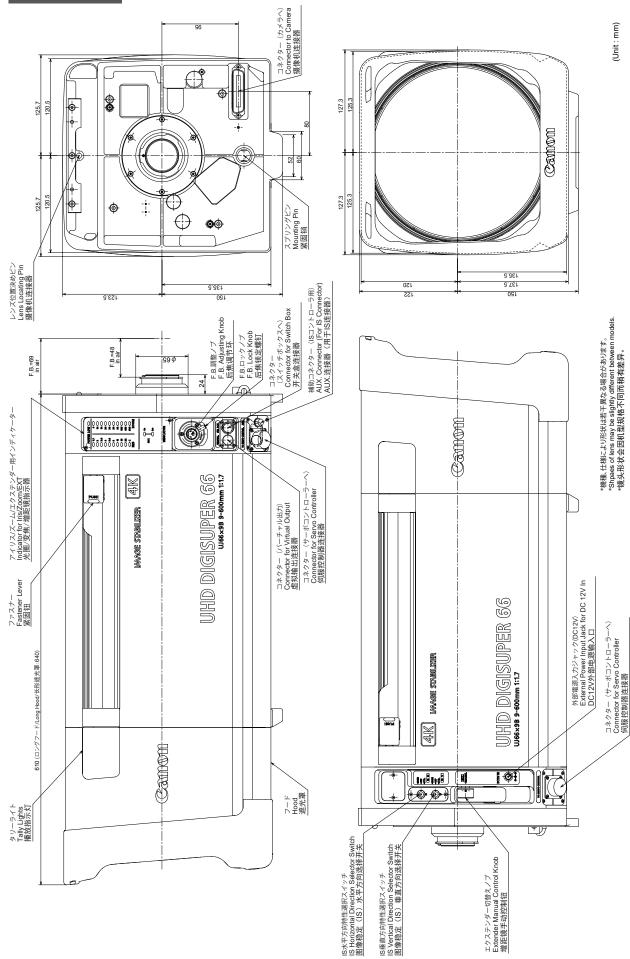
UJ122x8.2B AF コネクター(カメラへ) Connector to Camera 摄像机连接器 (Unit: mm) • 0 **⊕** – ⊕ 125.3 125.3 レンズ位置決めピン Lens Locating Pin 摄像机连接器 Campon ⊕ ⊕ ⊕ スプリングピン Mounting Pin 紧固销 + 125.3 127.3 125.3 • **©**@ コネクター(スイッチボックスへ) Connector for Switch Box (开关盒连接器 135.5 150 コネクター (IS コネクターへ) Connector for Switch Box IS连接器 3.35.5 3.751 155 F.B.調整ノブ F.B. Adjusting Knob <u>后集调节环</u> 120 F.B.ロックノブ F.B. Lock Knob 后焦锁定螺钉 F.B.=48 in air F.B.=69 in air *機種、仕様により形状は若干異なる場合があります。 *Shpaes of lens may be slightly different between models. *镜头形状会因机型规格不同而稍有差异。 アイリス/ズーム/エクステンダー用インディケーター Indicator for Iris/Zoom/EXT 光圏/ 变焦/増距镜指示器 Camon UHD DIGISUPER 122AF u122x828 AF 82-1000mm 1:1.7 4K コネクター(サーボコントローラーへ) Connector for Servo Controller 伺服控制器连接器 コネクター(バーチャル出力) Connector for Virtual Output 虚拟輸出连接器 INVAGE STABILIZIER 外部電源入力ジャック(DC12V) External Power Input Jack for DC 12V In DC12V外部电源输入口 UHD DIGISUPER 122AF W122×8.28 AF 8.2-1000mm 1:1.7 662 コネクター(サーボコントローラーへ) Connector for Servo Controller (同服控制器连接器 INVAGE STABILIZER Camou カーソルボタン Cursor button 光标操纵钮 タリーライト Tally Lights 播放指示灯 4K Θ • 11411141 ij DISPLAY スイッチ DISPLAY switch 显示屏开关 IS垂直方向特性選択スイッチ IS Vertical Direction Selector Switch 图像稳定(IS) 垂直方向选择开关 IS水平方向特性選択スイッチ IS Horizontal Direction Selector Switch 图像稿定(IS) 水平方向选择开关 ェクステンダー切替えノブ Extender Manual Control Knob 増距镜手动控制钮

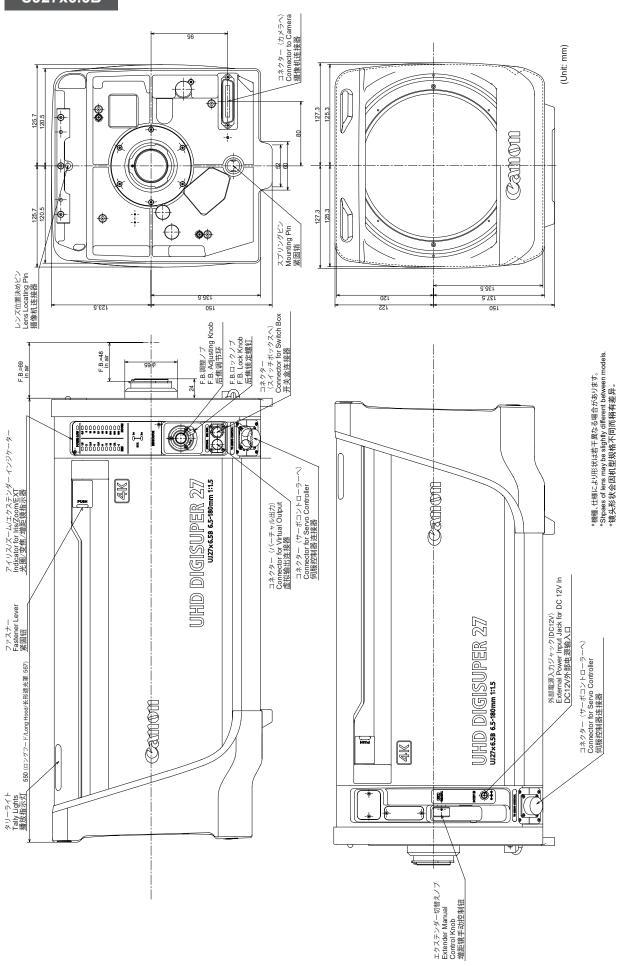




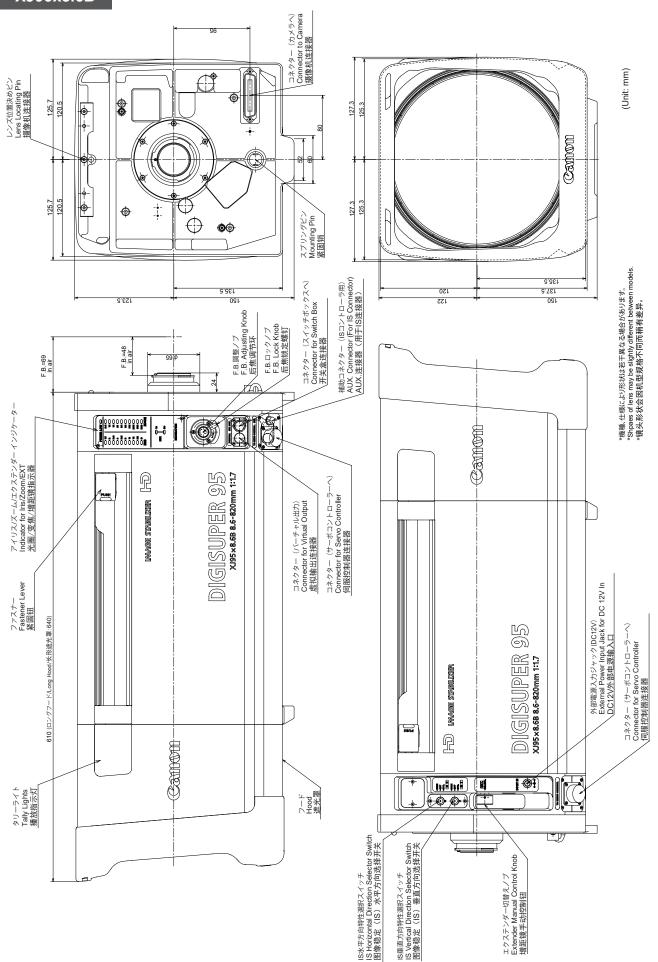


エクステンダー切替えノブ Extender Manual Control Knob 増距镜手动控制钮





エクステンダー切替えノブ Extender Manual Control Knob 増距镜手动控制钮



IS垂直方向特性選択スイッチ IS Vertical Direction Selector Switch 图像稳定(IS)垂直方向选择开关

エクステンダー切替えノブ Extender Manual Control Knob 増距镜手动控制钮

Canon

キヤノン株式会社

〒 146-8501 東京都大田区下丸子 3-30-2